



独立行政法人 国立高等専門学校機構

仙台高等専門学校
National Institute of Technology, Sendai College

学校概要

2025

令和7年度

宮城県、東北地区そして我が国の発展に貢献する 仙台高等専門学校

高等専門学校制度は、1950年代中盤から始まった我が国の高度成長期に、実践的技術者の早期育成を望む産業界からの強い要望に応えるために1962年に創設され、2022年に60周年を迎えました。仙台高等専門学校は、2009年に宮城県内に設置されていた宮城工業高等専門学校（1963年設置）と仙台電波工業高等専門学校（1971年設置、前身は1943年に設置された東北無線電信講習所）が融合再編されて誕生した高等専門学校で、名取と広瀬の2つのキャンパスを擁し、本科入学定員280名、専攻科入学定員70名を数える国内最大規模の高等専門学校で、これまでに約23,000名の人材を社会に輩出してきております。新たに今年度から、「情報と創造コース」の教育がはじまり、社会環境の変化を常に意識し、社会が必要とする情報技術に秀でた人材の育成の取り組みを開始いたしました。

また、両キャンパスを合わせ、教授41名、准教授・講師47名、助教13名の計101名の教員が、情報・通信・電子デバイス・機械・材料・建築といった多岐に渡る分野での教育・研究に携わっており、基礎的な科目から専門的な科目までの教育カリキュラムが用意され、多様な研究が進められております。

さらに、厚生施設としての学生寮が両キャンパスにそれぞれ用意されており、2025年度で管理棟以外の改修が終了し、海外の留学生とともに快適な寮生活を送ることができる体制が整っております。

現在、我が国の社会では、既存のものづくりの分野を支える技術者だけでなく、新たにスタートアップを目指す若者が強く求められております。このような社会の要請に応えるべく、アントレプレナーシップ教育にも注力しており、国の支援を受けて「アントレの巣」と呼ばれる工房が設置され、起業家への第一歩を踏み出すベースとなっております。まだ活動を開始したばかりですが、すでに起業家サミットで最優秀賞を受賞するまでに至っており、今後のさらなる発展が期待されております。

今後も、教職員が一丸となって、日本の産業を支える人材、新たな産業を生み出す人材を育てると同時に、産業界で必要とされている研究・技術開発を通して東北地域の発展に努めて行く所存でございます。本概要では、仙台高等専門学校の活動を紹介しておりますので、是非、お目通しいたきますようお願いいたします。

仙台高等専門学校

校長 橋爪 秀利



校歌

保岡 直樹 作詩 / 江村 玲子 作曲

新たな時代を切り開く高専の夢と意気込み、
そして未来へ躍進する姿を明るく、力強く、格調高く表現

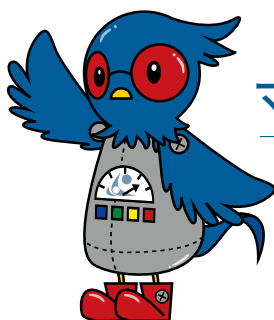
1. 仰ぐ秀麗 歳王の峰よ
萌ゆる若葉(みどり)に 心も躍る
自治の旗風(はたかぜ) あざやかに
たゆまぬ努力で 叡智を磨く
友よ究めん 科学の真理
ああ 仙台高専 夢呼ぶ我ら
2. 名取・広瀬の ふたつの川も
ひとつになりて 大海原へ
友愛(あい)を奏でる 波の音
溢れる情熱(おもい)は 世界をめぐる
友よ語らん 我らの使命
ああ 仙台高専 漲(みなぎ)る力
3. 高き理想と 鍛えし技で
宮城(ここ)を要に 花咲く文化
新たな息吹 類(ほほ)にうけ
豊かな創造 時代を拓(ひら)く
友よ学ばん 希望に燃えて
ああ 仙台高専 輝く未来

校章

心のある技術者、そして、
心に訴えるものづくりができる
人材を育ててほしいという
思いを込めて「心」を図案化



デザイン
宮城高専・情報デザイン学科
平成21年3月卒業生
齋 明日美



仙台高専マスコットキャラクター
「ロジェット」

マスコットキャラクター

ロボットの「ロ」、キジの「ジ」、
新学科は七つで、
タイ語で七の「ジェット」、
ロジックの「ロジ」から
「ロジェット」と命名
(平成27年2月12日制定)

はじめに

校長挨拶	02
設立理念・目的・教育目標・	
3つのポリシー	04
教育体制	10
JABEE認定教育プログラム	11
高専の学校制度	11
歴代校長・名誉教授	12
沿革	13

組織

組織図	15
運営組織図	16
運営体制図	17
教職員の現員・役職員	18
教員一覧	19

準学士課程

総合工学科	24
I類(広瀬キャンパス)	
●情報システムコース	26
●情報通信コース	27
●知能エレクトロニクスコース	28
II・III類(名取キャンパス)	
●電気電子コース	29
●マテリアルコース	30
●機械システムコース	31
●情報と創造コース	32
●建築デザインコース	33

I～III類共通

●応用科学コース	34
----------	----

専攻科

●情報電子システム工学専攻	35
●生産システムデザイン工学専攻	37
教育改革推進センター	39
研究・産学連携推進センター	40
リベラルアーツ推進室	42
キャリア教育推進室	42
スタートアップ推進室	42

施設

図書館	43
情報基盤センター	44
創造教育センター	45
学生相談室	47
SSR(スタディ・サポート・ルーム)	47
特別支援室	47
学生寮	48

学生と学生生活

学生の定員及び現員	49
奨学生数	49
出身地別在学者数	50
入学者選抜実施結果	51
令和6年度就職状況	52
卒業生の進路状況	54
学校行事	55
課外活動	56

収入・支出等

収入・支出	58
土地・建物	58

教育・研究等活動

外部資金受入状況	59
産学官金連携(協定)一覧	59
国際交流	60
国際学術活動	61

キャンパス

キャンパスマップ	62
アクセス	63

設立理念

現在、社会から高専に期待されている「幅広い場で活躍する実践的・創造的技術者の養成へ」に応えるために、仙台高等専門学校の教育研究上の理念を下記のように設定する。

「高度に複合化した産業界で技術開発の中核を担う実践的・創造的な能力を有し、次世代のものづくり技術者として国際的に通用する、人間性豊かな人材の養成を通じて、科学技術と人間社会の調和的発展に寄与する。」

目的

仙台高等専門学校は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

仙台高等専門学校の教育目標

1. 主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材の養成
2. 広く深い視野をもつ実践的で創造的な技術者の養成
3. 地域や国際社会に貢献できる技術者の養成

仙台高等専門学校の3つのポリシー

（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）

総合工学科の教育目標

1. 主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材の養成
2. 広い視野をもつ実践的で創造的な技術者の養成
3. 地域や国際社会に貢献できる技術者の養成

総合工学科のディプロマポリシー

仙台高等専門学校は目標とする人材を育成するため、本校に在籍し準学士課程において以下に掲げるような能力・姿勢を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① 工学分野についての幅広い知識と技術を活用できる実践的な能力
- ② 異なる分野を融合させて新しい価値を創出できる創造的な能力
- ③ 国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力
- ④ 技術者としての社会的役割や責任を自覚して行動する姿勢

コースのディプロマポリシー

I 類

◎情報システムコース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、情報システムコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- | | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| ① ソフトウェアの体系的な知識と技術 | ③ 情報システムの視点に立った論理的かつ実践的思考能力 |
| ② ハードウェアやネットワーク等の基盤技術 | ④ 情報システムの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力 |

◎情報通信コース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、情報通信コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| ① 情報通信、ネットワークの体系的な知識と技術 | ③ 情報通信の視点に立った論理的かつ実践的思考能力 |
| ② ソフトウェアやハードウェア等の基盤技術 | ④ 情報通信の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力 |

◎知能エレクトロニクスコース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、知能エレクトロニクスコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- | | |
|-----------------------|---|
| ① 電子工学の体系的な知識と技術 | ③ 電子・情報系の視点に立った論理的かつ実践的思考能力 |
| ② ソフトウェアやネットワーク等の基盤技術 | ④ 知能化の進むハードウェア技術の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力 |

II 類

◎電気電子コース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、電気電子コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- | | |
|---------------------|-----------------------------------|
| ① 電気電子工学の体系的な知識と技術 | ③ 電気電子工学の視点に立った論理的かつ実践的思考能力 |
| ② 機械・電気・電子・情報等の基盤技術 | ④ 電気電子工学の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力 |

◎マテリアルコース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、マテリアルコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- | | |
|------------------------|---------------------------------------|
| ① マテリアルサイエンスの体系的な知識と技術 | ③ マテリアルサイエンスの視点に立った論理的かつ実践的思考能力 |
| ② 材料科学・化学等の基盤技術と知識 | ④ マテリアルサイエンスの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力 |

◎機械システムコース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、機械システムコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| ① 機械工学の体系的な知識と技術 | ③ 機械工学の視点に立った論理的かつ実践的思考能力 |
| ② 機械の要素や融合・複合システムの設計・分析・評価等の基盤技術 | ④ 機械工学の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力 |

◎情報と創造コース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、情報と創造コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- | | |
|------------------------|-------------------------------------|
| ① 情報科学の体系的な知識と技術 | ③ 情報科学の視点に立った論理的かつ実践的思考能力 |
| ② 技術革新に必要となる生産工学等の基盤技術 | ④ 情報科学の社会的な役割を理解し、技術的課題を創造的に解決できる能力 |

III 類

◎建築デザインコース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、建築デザインコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① 建築デザインの体系的な知識と技術
- ② 都市及び建築に関わる基盤技術
- ③ 建築デザインの視点に立った論理的かつ実践的思考能力
- ④ 建築デザインの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力

I Ⅲ 類 共 通

◎応用科学コース

総合工学科のディプロマポリシーに加え、応用科学コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- ① 自然科学の体系的な知識と関連技術
- ② 情報・電気電子・機械・材料等の基盤技術
- ③ 自然科学の視点に立った論理的かつ実践的思考能力
- ④ 科学と技術の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力

総合工学科のカリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた能力の育成を目的に、「くさび形教育」、「スパイラル教育」、「アクティブ・ラーニング」を共通基盤として、以下の内容を備えたカリキュラムを編成する。

- ① 工学分野の実践的な能力の育成
 - ・専門科目の内容の連続性・関連性・継続性を考慮した学年配置を行う。
 - ・実験・実習・演習などの実体験を伴う科目を数多く配置する。
- ② 創造的な能力の育成
 - ・低学年から高学年まで、創造性の育成に関連した幅広い科目を配置する。
- ③ 国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力の育成
 - ・英語や国語などの科目を配置するとともに、様々な科目においてディスカッションやプレゼンテーションの機会を設定する。
- ④ 技術者として社会的役割や責任を自覚して行動する姿勢の育成
 - ・社会人として求められる多様な教養や倫理観を育成するために、広範なリベラル・アーツ科目を配置する。

これらの科目群に係る単位修得の認定は、定期試験並びに小テスト、レポート、プレゼンテーションなどの成績を総合的に評価し認定する。

科目の成績は、下記の基準により評価する。

S (90～100点) 特優 A (80～89点) 優 B (70～79点) 良 C (60～69点) 可 D (0～59点) 不可

コースのカリキュラムポリシー

◎情報システムコース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、情報システムコースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① 情報システムの中核となる情報工学基礎、情報処理等の知識と技術を体系的に習得させる。
- ② 情報システムを支える計算機システム、電気電子・通信等の情報・電子系に必要とされる基本的な知識を習得させる。
- ③ 情報システムの実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、情報システムの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

◎情報通信コース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、情報通信コースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① 情報通信の中核となる情報通信工学基礎、情報処理等の知識と技術を体系的に習得させる。
- ② 情報通信を支える電気電子・通信、ネットワーク、計算機システム等の情報・電子系に必要とされる基本的な知識を習得させる。
- ③ 情報通信の実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、情報通信の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

◎知能エレクトロニクスコース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、知能エレクトロニクスコースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ① 電子機器の中核となるエレクトロニクス及び各種デバイス等の知識と技術を体系的に習得させる。
- ② 機器の知能化を支えるプログラミング及びマイクロコンピュータ技術等の情報・電子系に必要とされる基本的な知識を習得させる。
- ③ 電子・情報系の実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。
- ④ インターンシップや卒業研究等を通して、知能化の進むハードウェア技術の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。

Ⅱ類

◎電気電子コース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、電気電子コースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- | | |
|--|--|
| ① 電気電子工学とその関連分野の基礎知識と技術を体系的に習得させる。 | ③ 電気電子工学の実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。 |
| ② 電気回路、電子回路、情報技術等の電気電子工学の基本的な知識を習得させる。 | ④ インターンシップや卒業研究等を通して、電気電子工学の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。 |

◎マテリアルコース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、マテリアルコースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ① マテリアルサイエンスの知識と技術を体系的に習得させる。 | ③ マテリアルサイエンスに関する実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。 |
| ② 材料工学分野の基礎となる材料科学・化学等の基本的知識を習得させる。 | ④ インターンシップや卒業研究等を通して、マテリアルサイエンスの視点から創造性や問題解決能力を高め、社会発展に貢献できる能力を育成する。マテリアル技術の社会的役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。 |

◎機械システムコース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、機械システムコースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- | | |
|--|--|
| ① 機械工学の知識と技術を体系的に習得させる。 | ③ 機械工学に関する実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。 |
| ② 機械の要素や複合・融合システムの創造・設計に必要なとされる基本的な知識を習得させる。 | ④ インターンシップや卒業研究等を通して、機械工学の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。 |

◎情報と創造コース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、情報と創造コースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- | | |
|--|--|
| ① 情報と創造の中核となる情報工学基礎、情報処理等の知識と技術を体系的に習得させる。 | ③ 情報と創造の実験・実習科目を通して、創造的かつ実践的思考能力を育成する。 |
| ② 情報と創造を支える「ものづくり」、要素技術や複合・融合システムの創造・設計に必要なとされる基本的な知識を習得させる。 | ④ フィールドワーク、インターンシップや卒業研究等を通して、情報と創造の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。 |

Ⅲ類

◎建築デザインコース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、建築デザインコースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- | | |
|--|--|
| ① 建築デザインの中核となる都市・建築学とその関連分野の基礎知識と技術を体系的に習得させる。 | ③ 建築デザインの実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。 |
| ② 建築デザイン技術を支える建築計画、建築設計、建築環境、建築構造等の未来の都市・建築を生み出すために必要とされる基本的な知識を習得させる。 | ④ インターンシップや卒業研究等を通して、建築デザインの社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。 |

Ⅰ～Ⅲ類共通

◎応用科学コース

総合工学科のカリキュラムポリシーに加え、応用科学コースでは、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- | | |
|--|---|
| ① 自然科学の中核となる古典力学、量子力学、熱統計力学等の知識と技術を体系的に習得させる。 | ③ 自然科学の実験・実習科目を通して、論理的かつ実践的思考能力を育成する。 |
| ② 最先端の科学技術を支える物性、情報、非線形システム等の応用物理・物理工学系に必要なとされる基本的な知識を習得させる。 | ④ インターンシップや卒業研究等を通して、科学と技術の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を育成する。 |

総合工学科のアドミッションポリシー

■準学士課程のアドミッションポリシー

入学者に期待される人間像

- ① 技術者として活躍しようという意欲とそれを実現できる能力のある人
- ② 科学と技術に興味・関心がある人
- ③ 自ら考えて行動し、粘り強く努力する人
- ④ 他人への思いやりがあり、責任感のある人

学力の三要素と期待される人間像の対応関係は以下の通りです。

「知識・技能」①、②

「思考力・判断力・表現力」③

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」①、③、④

入学者選抜の基本方針

次の四つの方法で選抜します。

①学力検査による選抜

本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、学力検査（数学、理科、英語、国語、社会）及び調査書の総合評価によって選抜します。学力検査では数学を重視します。

②推薦による選抜

在籍学校の成績が優秀で、学校長から推薦された志願者のうち、本校の期待する人間像に合致する人を、調査書及び作文と面接の総合評価によって選抜します。

③自己推薦による特別選抜

情報と創造コースの教育を受けるのに必要な素養を有した人材を、作文、グループワーク、面接、調査書、自己推薦書の総合評価によって選抜します。

④帰国生特別選抜

外国における教育を受けた人で一定の条件を満たす志願者のうち、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、学力検査（数学、理科、英語、国語）と面接の総合評価によって選抜します。

■準学士課程編入学のアドミッションポリシー

入学者に期待される人間像

- ① 技術者として地域や国際社会で活躍しようという意欲のある人
- ② 科学技術に興味・関心がある人
- ③ 自ら考えて行動し、粘り強く努力する人
- ④ 他人への思いやりがあり、責任感のある人
- ⑤ 高等学校卒業程度の科学又は技術の基礎を習得した人

学力の三要素と期待される人間像の対応関係は以下の通りです。

「知識・技能」①、②、⑤

「思考力・判断力・表現力」③

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」①、③、④

入学者選抜の基本方針

本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有し技術者となることに意欲のある人を、口頭試問（数学、英語、専門）と一般面接及び調査書の総合評価によって選抜します。

専攻科の教育目標

1. 主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材の養成
2. 広く深い視野をもつ実践的で創造的な技術者の養成
3. 地域や国際社会に貢献できる技術者の養成

専攻科のディプロマポリシー

仙台高等専門学校は目標とする人材を育成するため、本校に在籍し専攻科課程において以下に掲げるような能力・姿勢を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。

- ① 実践的技術者としての高度にかつ幅広い基本的能力・素養
- ② 融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力
- ③ 国際的に通用するコミュニケーション能力
- ④ 社会的責任を考えて研究・開発する能力
- ⑤ 高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力

専攻科のカリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた能力の育成を目的に、専攻科では、準学士課程で培った実践的かつ創造的能力、及び人間力を更に高め、融合複合領域において国際的に通用する高度な実践的技術者を養成するため、以下の内容を備えたカリキュラムを編成する。

- ① 準学士課程で培った実践的技術者としての基本的能力・素養をより高度にかつ幅広く習得することが可能な、一般・専門科目群を配置する。
- ② 融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力を育成するために、専攻実験・演習、専攻研究等の異なる技術の創造的な融合に取り組む科目を配置する。
- ③ 国際的に通用するコミュニケーション能力を育成するために、英語、専攻英語、専攻研究等の日本語・外国語による討論や対外的な研究発表を行う科目を配置する。
- ④ 社会的責任を考えて研究・開発する能力を育成するために、倫理観を涵養する技術者倫理、思想史、及び地域・企業と連携して教育するインターンシップ等の科目を配置する。
- ⑤ 高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力を育成する科目、創造工学演習、専攻実験・演習、専攻研究等を配置する。

これらの科目群に係る単位修得の認定は、定期試験並びに小テスト、レポートなどの成績を総合的に評価し認定する。科目の成績は、下記の基準により評価する。

S (90～100点) 特優 A (80～89点) 優 B (70～79点) 良 C (60～69点) 可 D (0～59点) 不可

専攻科のアドミッションポリシー

■情報電子システム工学専攻／生産システムデザイン工学専攻のアドミッションポリシー

入学者に期待される人間像

- ① 自ら学ぶための基礎的な学力と資質を有する人
- ② コミュニケーションの基本を身に付けた人
- ③ 社会の一員として、社会に貢献する気概を有する人
- ④ 自発的に問題を発見し、解決する意欲を有する人
- ⑤ 豊かな人間性を有する人

学力の三要素と期待される人間像の対応関係は以下の通りです。

「知識・技能」①

「思考力・判断力・表現力」②、④

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」③、④、⑤

入学者選抜の基本方針

次の四つの方法で選抜します。

①学力検査による選抜

本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、学力検査（英語（TOEIC スコア利用）、数学、専門）と調査書の総合評価によって選抜します。

②推薦による選抜

在籍高専の成績が優秀で、学校長から推薦された志願者のうち、本校の期待する人間像に合致する人を、調査書及び面接の総合評価によって選抜します。さらに、生産システムデザイン工学専攻では TOEIC に基づく英語能力を評価に加えます。

③社会人特別選抜

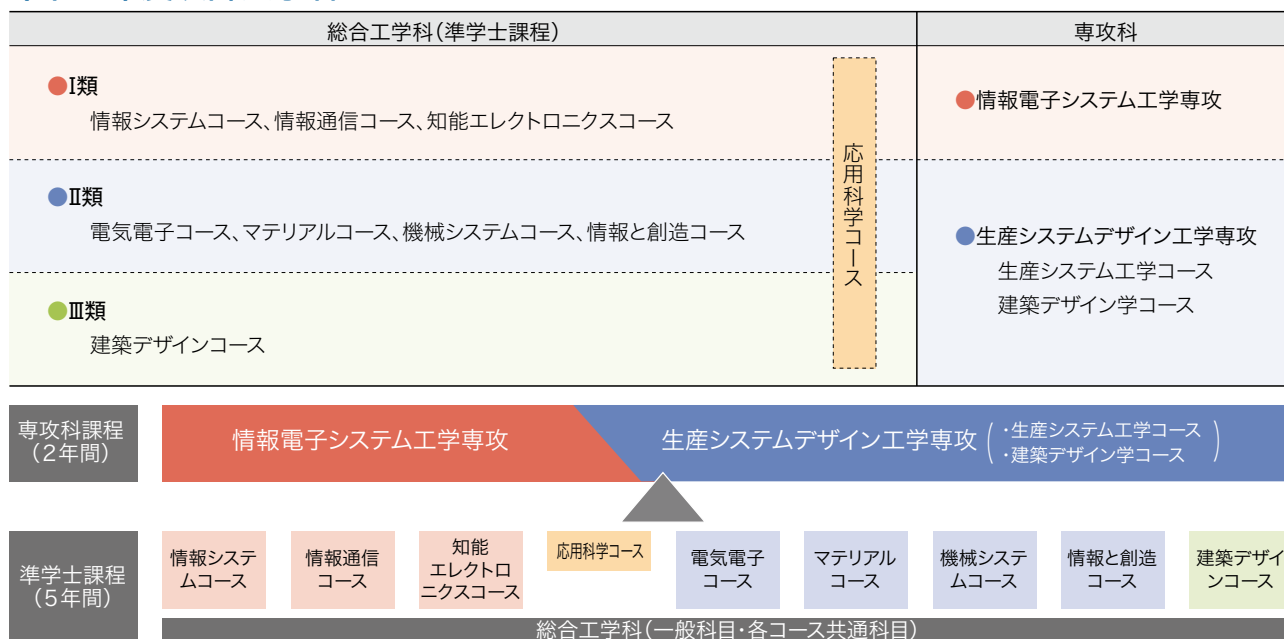
本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した人を、出身学校の調査書、自己推薦書、小論文及び面接の総合評価によって選抜します。

④外国人留学生特別選抜

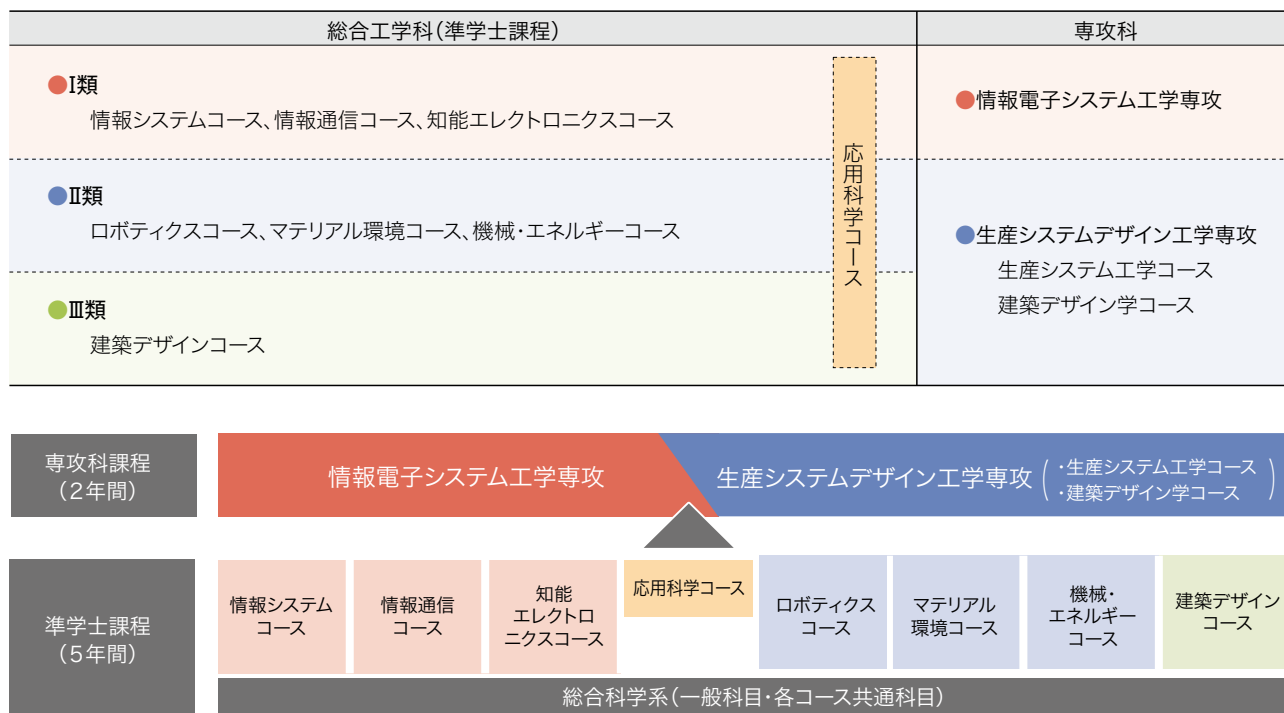
本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力、語学力を有した人を、出身学校の成績証明書と推薦書、入学志願者自己調査書、日本語による小論文検査（基礎学力を問う問題）及び面接の総合評価によって選抜します。

教育体制

令和7年度以降入学者



平成29年度～令和6年度入学者



■特徴

1学科9コースからなる1学科制

- 低学年で統一した専門基礎教育を行うことによる基礎学力の質の保証。
- 他コースの単位取得に制限がないため、幅広く適性に応じた複合的学習が可能。
- 様々な分野を広く学べるため、適性に応じたキャリア形成が可能。
- 類毎での入学者選抜を採用し、Ⅰ類・Ⅲ類では2年生進級時、Ⅱ類では3年生進級時に所属コースの決定を行うことで、適性に合った専門を選択可能。

JABEE認定教育プログラム

日本技術者教育認定機構(JABEE)は、学問を教える工学教育から技術者を育てる技術者教育への転換を実現し、日本の技術水準を国際水準に整合させる目的で設立されました。JABEE 認定制度は平成13年度から始まり、平成13年度は3大学が認定を受けました。仙台高専専攻科の前身である宮城高専専攻科と仙台電波高専専攻科は、翌14年度に東北の大学及び全国の高専専攻科では最初に認定を受けました。

平成19年度、平成24年度及び平成30年度に継続認定となり、仙台高専のJABEE 教育プログラムが掲げる育成する技術者像や学習・教育到達目標は、国際的な工学教育の水準を満たしていると認められ、そのプログラム修了生は世界に通用する技術者教育を受けた者であると評価されます。



JABEE修了証書授与式

日本技術者教育認定機構(JABEE)認定の教育プログラム

準学士課程4年次(一部3年次科目を含む)から専攻科2年次までの4年間は、次の2つのプログラムに基づいた教育が行われます。各プログラムは、4年制大学の教育内容が保証されるとともに、国際化に対応したものとして高い評価を得ているものです。したがって、この教育プログラムを修了すると、技術者に必要な基礎教育を完了したものととして技術士第1次試験を免除されて直接「修習技術者」となり、一定の条件のもとでの経験年数を経て、技術士の受験資格が得られます。

広瀬キャンパス

情報電子システム工学プログラム

本プログラムは、電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野で、JABEE認定を受けました。新たな高度情報電子技術産業の創出を促進するために、人間・社会・環境に優しい技術開発に携わることができる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた国際的に通用するエンジニアを養成します。

本プログラムは、令和7年度以降も継続します。

名取キャンパス

生産システムデザイン工学プログラム

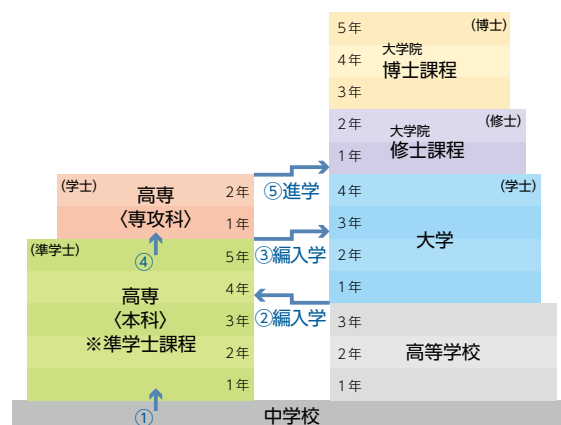
本プログラムは、工学(融合複合・新領域)及びその関連の工学分野で、JABEE認定を受けました。人類と自然が調和した社会の実現に向けて、総合的な技術革新に携わることができる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた国際的に通用するエンジニアを養成します。

本プログラムは、令和7年度末(2026年3月)に終了予定です。

高専の学校制度

右図は、学校制度における、高専の学科(準学士課程)及び高専専攻科(専攻科課程)の位置付けを表しています。

- ①中学校卒業者は、高専(本科)への入学資格があります。
- ②高校卒業者は、高専(本科)への編入学資格があります。
- ③高専(本科)卒業者は、大学への編入学資格があります。
- ④高専(本科)卒業者は、高専専攻科課程への入学資格があります。
- ⑤高専(専攻科)を修了し、大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位を授与された者は、大学院への入学資格があります。



歴代校長・名誉教授

令和7年5月1日現在

仙台高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初代	宮城光信	平成21年10月1日～平成22年3月31日
第2代	内田龍男	平成22年4月2日～平成28年3月31日
第3代	福村裕史	平成28年4月1日～令和3年3月31日
第4代	澤田恵介	令和3年4月1日～令和7年3月31日
第5代	橋爪秀利	令和7年4月1日～

Honorary Professor

氏名	国籍	称号授与年月日	授与理由
Luvsannyam Gantumur	モンゴル	平成25年4月12日	本校卒業後モンゴル国教育・科学大臣に就任、学術交流に尽力した

名誉教授

氏名	称号授与年月日	氏名	称号授与年月日	氏名	称号授与年月日
宮城光信	平成22年4月1日	鈴木吉朗	平成27年4月1日	遠藤昇	令和3年4月1日
花熊克友	平成22年4月1日	櫻井宏	平成27年4月1日	久保田佳克	令和3年4月1日
千葉正昭	平成23年4月1日	羽賀浩一	平成27年4月1日	高橋薫	令和4年4月1日
生田信之	平成23年4月1日	内田龍男	平成28年4月1日	熊谷和志	令和4年4月1日
高村潔	平成23年4月1日	佐藤安功	平成28年4月1日	徳能康	令和4年4月1日
伊藤憲雄	平成23年4月1日	佐々木典彦	平成28年4月1日	伊勢英明	令和5年4月1日
逢坂雄美	平成23年4月1日	大泉哲哉	平成28年4月1日	馬場一隆	令和5年4月1日
野田泰久	平成23年4月1日	鈴木隆之	平成28年4月1日	櫻庭弘	令和5年4月1日
加藤靖	平成23年4月1日	平間哲雄	平成30年4月1日	遠藤智明	令和5年4月1日
松谷保	平成24年4月1日	藤木なほみ	平成30年4月1日	飯田清志	令和5年4月1日
柴田公博	平成24年4月1日	佐藤公男	平成30年4月1日	内海康雄	令和5年4月1日
名久井孝義	平成24年4月1日	佐藤敏行	平成30年4月1日	竹島久志	令和6年4月1日
小野寺重文	平成24年4月1日	鈴木勝彦	平成31年4月1日	佐藤一志	令和6年4月1日
石山純一	平成25年4月1日	鈴木哲	平成31年4月1日	竹茂求	令和6年4月1日
丹野顯	平成25年4月1日	武田淳	令和2年4月1日	北川明生	令和7年4月1日
鯨井千佐登	平成26年4月1日	福地和則	令和2年4月1日	澤田恵介	令和7年4月1日
海野啓明	平成26年4月1日	福村裕史	令和3年4月1日	中村富雄	令和7年4月1日

宮城工業高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間	代数	歴代校長名	在任期間
初代	黒川利雄	昭和38年4月1日	第5代	矢澤彬	平成元年4月1日～平成7年3月31日
第2代	鈴木廉三九	昭和38年4月2日～昭和51年4月1日	第6代	斉藤正三郎	平成7年4月2日～平成12年3月31日
第3代	河上房義	昭和51年4月1日～昭和58年4月1日	第7代	四ツ柳隆夫	平成12年4月2日～平成19年3月31日
第4代	山口格	昭和58年4月1日～平成元年3月31日	第8代	宮城光信	平成19年4月1日～平成21年9月30日

名誉教授

氏名	称号授与年月日	氏名	称号授与年月日	氏名	称号授与年月日
小枝昌造	平成4年4月1日	阿部邦利	平成12年3月16日	唐澤信司	平成18年4月1日
石井浩	平成5年4月1日	千葉胤明	平成12年3月27日	四ツ柳隆夫	平成19年4月1日
伊藤繁巳	平成5年4月1日	斉藤正三郎	平成12年4月1日	松浦真	平成19年4月1日
早坂高則	平成6年4月1日	岡田将彦	平成12年4月1日	池田千里	平成19年4月1日
早坂茂	平成7年4月1日	大泉智壽	平成14年4月1日	佐々木愼彦	平成20年4月1日
有川晋	平成8年4月1日	小野堯之	平成15年4月1日	澁谷純一	平成20年4月1日
鈴木昭逸	平成8年4月1日	坂本政紀	平成15年4月1日	田口收	平成20年4月1日
桑原孝夫	平成9年4月1日	百瀬丘	平成17年4月1日	吉田光彦	平成21年4月1日
木村茂	平成9年4月1日	丹野浩一	平成17年4月1日		
渡辺宏	平成10年4月1日	庄司彰	平成18年4月1日		

仙台電波工業高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間	代数	歴代校長名	在任期間
初代	角川正	昭和46年4月1日～昭和49年12月21日	第4代	山田竹實	平成2年4月1日～平成9年3月31日
第2代	平原榮治	昭和50年4月3日～昭和58年3月31日	第5代	渡辺英夫	平成9年4月1日～平成17年3月31日
第3代	高橋正	昭和58年4月3日～平成2年3月31日	第6代	宮城光信	平成17年4月2日～平成21年9月30日

名誉教授

氏名	称号授与年月日	氏名	称号授与年月日	氏名	称号授与年月日
高橋正	平成2年8月16日	根岸幸康	平成16年4月1日	浅見誠治	平成19年4月1日
中川一郎	平成3年5月27日	三浦幹雄	平成16年4月1日	服部正行	平成19年4月1日
長島富太郎	平成12年4月1日	渡辺英夫	平成17年4月1日	福島正忠	平成19年4月1日
中林撰	平成15年4月1日	細川幸也	平成17年4月1日	鹿股昭雄	平成20年4月1日
竹内登志男	平成15年4月1日	今野真	平成19年4月1日	熊谷正純	平成21年4月1日

沿革

我が国の産業のめざましい発展と科学技術の著しい高度化に伴い、有為な技術者の養成が社会の各方面から強く要望され、昭和36年の学校教育法の一部改正により、高等教育機関として新たに中学校卒業程度を入学資格とする5年制の高等専門学校制度が発足しました。現在、51国立高専と3公立高専、4私立高専が設置されています。

本校は、宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校とを高度化再編し、平成21年10月1日に仙台高等専門学校（広瀬キャンパス・名取キャンパス）として設置したものです。

	宮城工業高等専門学校	仙台電波工業高等専門学校
昭和18年1月22日 4月1日 11月1日		(財)東北無線電信講習所設置 特科を設置 逓信省所管の官立無線電信講習所仙台支所となる
昭和20年4月1日		官制改正により官立仙台無線電信講習所として独立
昭和24年5月31日		国立仙台電波高等学校となる
昭和38年4月1日	宮城工業高等専門学校設置 機械工学科、電気工学科、建築学科	
昭和43年度	金属工学科を設置	
昭和46年4月1日		仙台電波工業高等専門学校となる 電波通信学科(2学級)
昭和52年度		電波通信学科1学級を電子工学科に改組
昭和53年度		情報工学科を設置
昭和60年度		電子制御工学科を設置
昭和61年度	金属工学科を材料工学科に改組	
平成元年度		電波通信学科を情報通信工学科に改称
平成3年度	2専門履修コース設置	
平成5年度	情報デザイン学科を設置	専攻科を設置 電子システム工学専攻 情報システム工学専攻
平成10年度	専攻科を設置 生産システム工学専攻 建築・情報デザイン学専攻	
平成15年度	JABEE認定 生産システムデザイン工学プログラム ー工学(融合複合・新領域)分野ー	JABEE認定 電子情報システム工学プログラム ー電気・電子・情報通信及びその関連分野ー (平成22年3月に名称が「情報電子システム工学プログラム」に変更)
平成16年度	独立行政法人国立高等専門学校機構 宮城工業高等専門学校となる	独立行政法人国立高等専門学校機構 仙台電波工業高等専門学校となる

	仙台高等専門学校
平成21年10月1日	宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校を高度化再編し、仙台高等専門学校を設置 学 科／機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科、 知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科 専攻科／生産システムデザイン工学専攻、情報電子システム工学専攻 地域人材開発本部(地域イノベーションセンター、CO-OP教育センター、ICT先端開発センター)を設置
平成27年5月1日	地域人材開発本部を廃止し、研究推進センターを設置
平成29年4月1日	学科改組し、一学科とし、学科の下に以下を設置 学 科／総合工学科 Ⅰ類:情報システムコース、情報通信コース、知能エレクトロニクスコース Ⅱ類:ロボティクスコース、マテリアル環境コース、機械・エネルギーコース Ⅲ類:建築デザインコース Ⅰ～Ⅲ類共通:応用科学コース 研究推進センターを廃止、 教育改革推進センター、研究戦略企画センターを設置
令和7年4月1日	高度情報専門人材育成・早期輩出機能強化事業によるコース改組 ロボティクスコース、マテリアル環境コース、機械・エネルギーコースを改組 電気電子コース、マテリアルコース、機械システムコース、情報と創造コースを設置

平成21年10月高度化再編以降の概要

■宮城工業高等専門学校

学 科 (入学定員200人)

機械工学科 電気工学科 建築学科 材料工学科 情報デザイン学科

専攻科 (入学定員20人)

生産システム工学専攻 建築・情報デザイン学専攻

■仙台電波工業高等専門学校

学 科 (入学定員160人)

情報通信工学科 電子工学科 電子制御工学科 情報工学科

専攻科 (入学定員16人)

電子システム工学専攻 情報システム工学専攻

再 編/平成21年10月
学生受入開始/平成22年4月

高度化再編

■仙台高等専門学校

学 科 (入学定員280人)

機械システム工学科 電気システム工学科 マテリアル環境工学科 建築デザイン学科 知能エレクトロニクス工学科 情報システム工学科
情報ネットワーク工学科

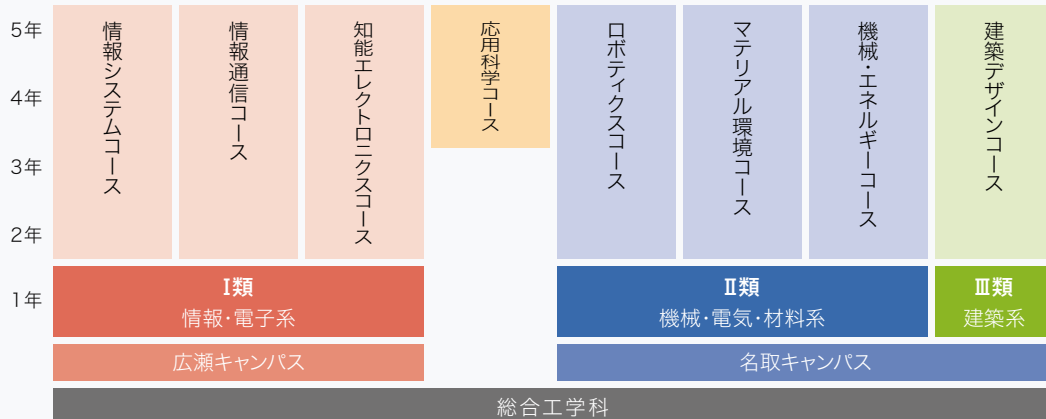
専攻科 (入学定員70人)

生産システムデザイン工学専攻 情報電子システム工学専攻

再 編/平成29年4月
学生受入開始/平成29年4月1学科制に
再編

■総合工学科

主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材、広い視野をもつ実践的で創造的な技術者、地域や国際社会に貢献できる技術者を育成



■専攻科(入学定員70人)

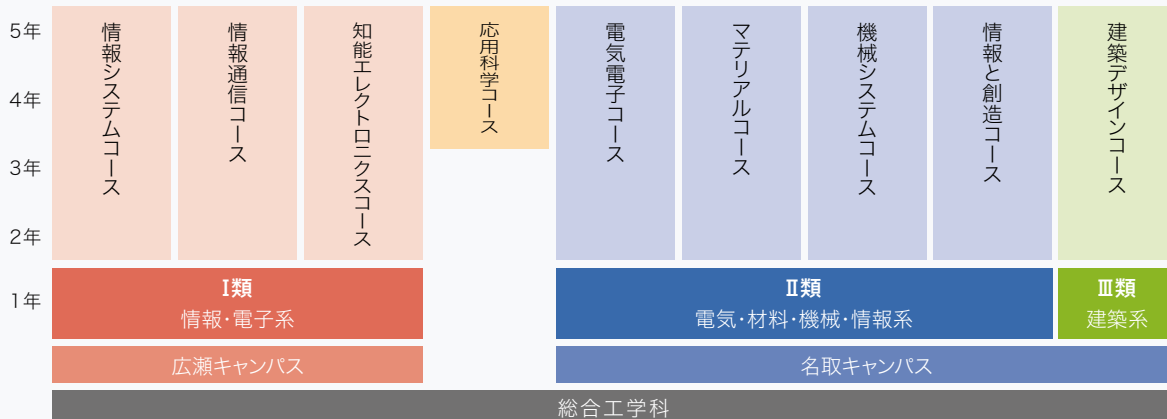
情報電子システム工学専攻 生産システムデザイン工学専攻

再 編/令和7年4月
学生受入開始/令和7年4月

コース改組

■総合工学科

主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材、広い視野をもつ実践的で創造的な技術者、地域や国際社会に貢献できる技術者を育成

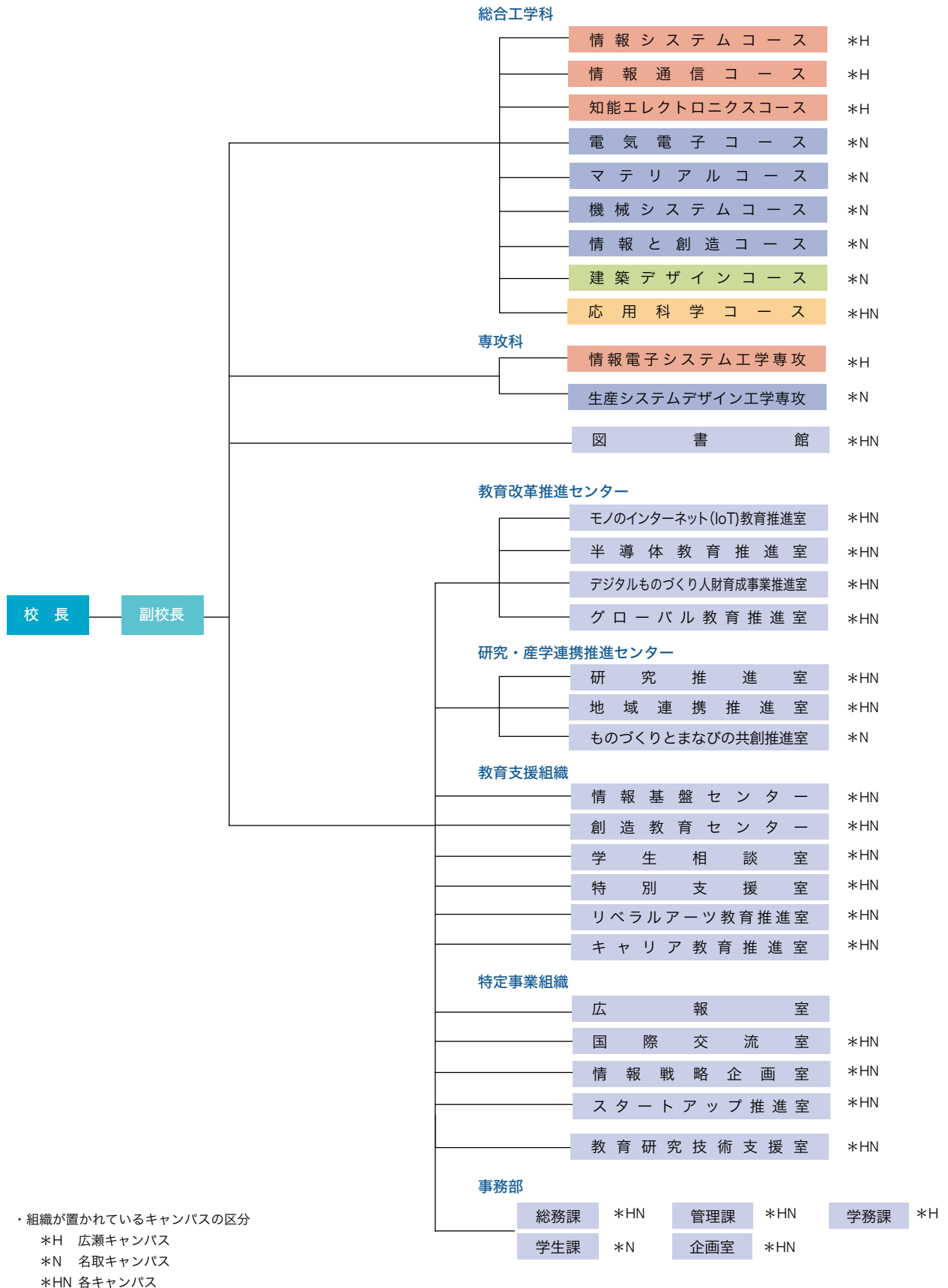


■専攻科(入学定員70人)

情報電子システム工学専攻 生産システムデザイン工学専攻

組織図

令和7年5月1日現在



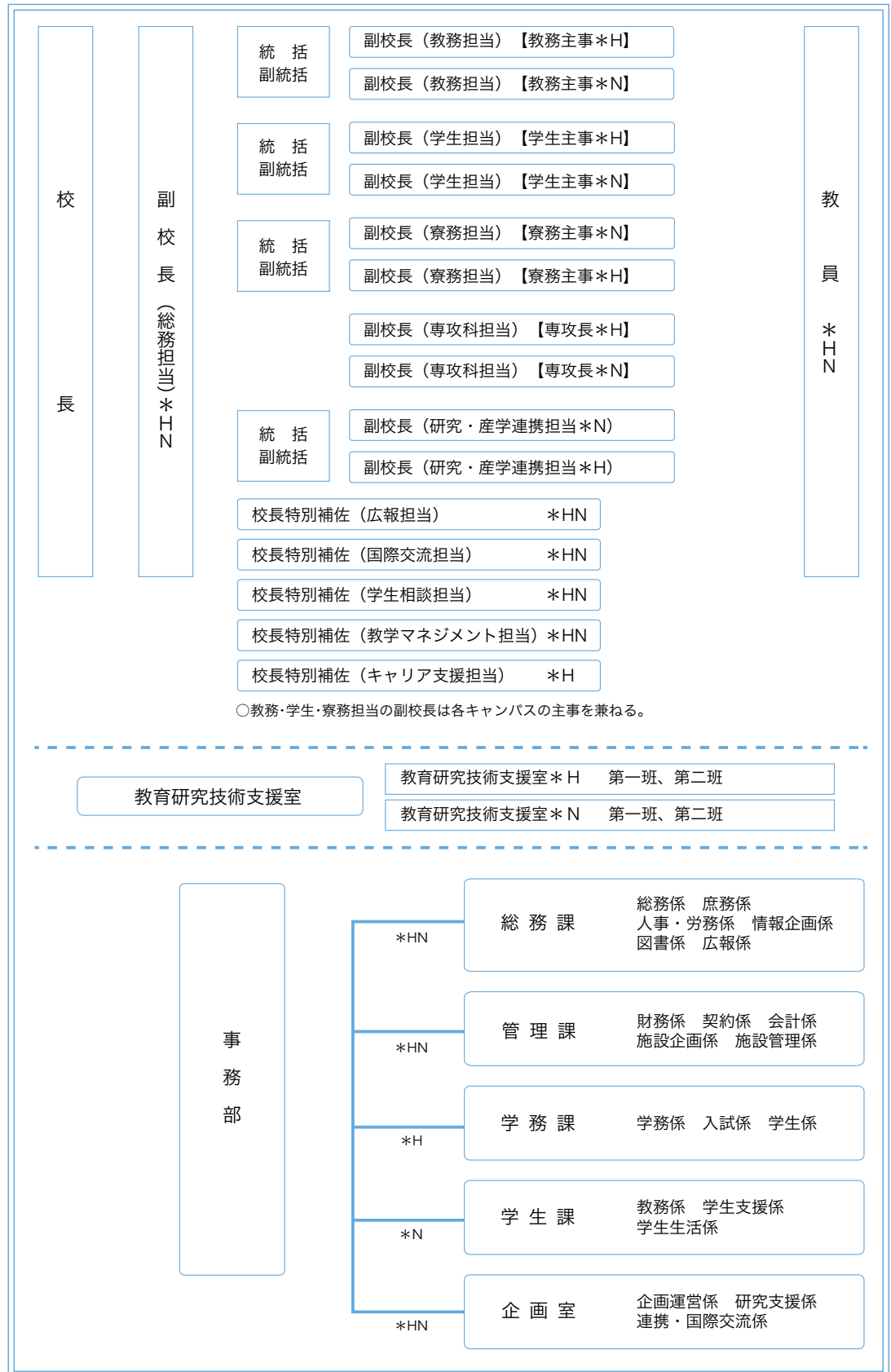
運営組織図

令和7年5月1日現在



運営体制図

令和7年5月1日現在



*H 広瀬キャンパス
 *N 名取キャンパス
 *HN 両キャンパス

教職員の現員

令和7年5月1日現在

(単位：人)

現員

校長	教授	准教授	講師	助教・助手	その他	小計	職員	合計
1	41	45	2	13	5	107	79	186

※その他＝嘱託教授、嘱託准教授、特命助教

教員の年齢構成

年齢区分	教授		准教授		講師		助教・助手		その他		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
21～30							1				1		1
31～40			2	1			8	1		1	10	3	13
41～50	1	2	19	3	1		2	1			23	6	29
51～60	22	2	15	3		1					37	6	43
61～70	14		2						4		20		20
計	37	4	38	7	1	1	11	2	4	1	91	15	106

※その他＝嘱託教授、嘱託准教授、特命助教

役職員

令和7年5月1日現在

校 長 橋 爪 秀 利			
副校長(総務担当)(広瀬)、総合工学科長、教育研究技術支援室長(広瀬)	白 根 崇	副校長(総務担当)(名取)、副総合工学科長、教育研究技術支援室長(名取)	伊 藤 昌 彦
副校長(教務担当)・教務主事(広瀬)、教育改革推進センター長	矢 島 邦 昭	副校長(教務担当)・教務主事(名取)、教育改革推進副センター長	若 生 一 広
副校長(学生担当)・学生主事(広瀬)	林 忠 之	副校長(学生担当)・学生主事(名取)	本 郷 哲
副校長(寮務担当)・寮務主事(広瀬)	武 田 拓	副校長(寮務担当)・寮務主事(名取)	柴 田 尚 都
副校長(専攻科担当)(広瀬)、専攻科長、情報電子システム工学専攻長	奥 村 俊 昭	副校長(専攻科担当)(名取)、副専攻科長、生産システムデザイン工学専攻長	大 町 方 子
副校長(研究・産学連携担当)(広瀬)、Ⅰ類長、研究戦略企画副センター長	柏 葉 安 宏	副校長(研究・産学連携担当)(名取)、研究戦略企画センター長、情報と創造コース主任	武 田 光 博
校長特別補佐(広報担当)(広瀬)、情報通信コース主任	平 塚 眞 彦	校長特別補佐(広報担当)(名取)	伊 師 華 江
校長特別補佐(国際交流担当)(広瀬)	小 林 秀 幸	校長特別補佐(国際交流担当)(名取)	小 林 仁
校長特別補佐(学生相談担当)(広瀬)	矢 澤 睦	校長特別補佐(学生相談担当)(名取)	徳 竹 亜紀子
校長特別補佐(教学マネジメント担当)(広瀬)	岩 井 克 全	校長特別補佐(教学マネジメント担当)(名取)	永 弘 進一郎
校長特別補佐(キャリア支援担当)	佐久間 実 緒	Ⅱ類長、マテリアルコース主任・マテリアル環境コース主任	浅 田 格
情報システムコース主任	岡 本 圭 史	Ⅲ類長、建築デザインコース主任	相 模 誓 雄
知能エレクトロニクスコース主任	今 井 裕 司	電気電子コース主任、ロボティクスコース主任	野 角 光 治
応用科学コース主任、広瀬キャンパス導入教育主任	佐 藤 健太郎	機械システムコース主任、機械・エネルギーコース主任	石 川 信 幸
図書館長(広瀬)	笠 松 直	名取キャンパス導入教育主任	黒 澤 佑 司
		図書館長(名取)	今 野 一 弥

事務部長 近 藤 隆			
総務課長	山 田 幸 紀	学生課長	平 野 直 樹
管理課長	安 達 順	企画室長	佐々木 一 郎
学務課長	斎 藤 建 一		

教員一覧

広瀬キャンパス教員一覧《職名毎、50音順》

職名・学位	氏名		専門分野	研究テーマ
教授 博士（情報科学）	安 藤 敏 彦	ANDO Toshihiko	情報学 / インフォマティクス	人と情報・人工物との社会的相互作用
教授 博士（工学）	今 井 裕 司	IMAI Yuji	材料工学	有機強誘電体フィルムの作製とセンサ応用
教授 博士（工学）	岩 井 克 全	IWAI Katsumasa	その他工学	ErYAG レーザ光伝送システムとその医療応用に関する研究
教授 博士（理学）	岡 本 圭 史	OKAMOTO Keishi	計算機科学	高信頼で安全なソフトウェアに関する研究
教授 博士（工学）	奥 村 俊 昭	OKUMURA Toshiaki	電気工学 / 電子工学	画像からの対象領域の自動抽出
教授 博士（工学）	柏 葉 安 宏	KASHIWABA Yasuhiro	電気工学 / 電子工学	酸化亜鉛を用いたデバイスの作製に向けて
教授 博士（工学）	川 崎 浩 司	KAWASAKI Koji	物性物理学	半導体内に光生成されたキャリアの振る舞いに関する研究
教授 博士（理学）	小 松 京 嗣	KOMATSU Kyouji	材料化学	ナノ粒子、レーザー加工
教授 博士（工学）	白 根 崇	SHIRANE Takashi	物性物理学	磁性体の非線形特性に関する研究
教授 博士（学術）	園 田 潤	SONODA Jun	電気工学 / 電子工学	高速電磁波シミュレーションおよび複合リモートセンシングと深層学習による 環境科学・災害科学に関する研究
教授 博士（情報科学）	高 橋 晶 子	TAKAHASHI Akiko	計算機科学	情報の価値を考慮した情報共有のためのネットワークシステムに関する研究
教授 修士（文学）	武 田 拓	TAKEDA Taku	応用言語学	①宮城県を中心とした方言の調査研究 ②ことばに興味関心をもち、適切に使いこなすための啓蒙活動
教授 博士（情報科学）	千 葉 慎 二	CHIBA Shinji	情報通信工学	スマート農業、防災ネットワークに関する研究
教授 博士（工学）	那 須 潜 思	NASU Senshi	電気工学 / 電子工学	付加価値を有する高機能ディスプレイおよび光応用計測に関する研究
教授 博士（工学）	林 忠 之	HAYASHI Tadayuki	電気工学 / 電子工学	超高感度磁気センサによる微弱微細磁場計測と超微細磁気記録
教授 博士（情報科学）	平 塚 眞 彦	HIRATSUKA Masahiko	計算機科学	超並列分子コンピュータの実現へ向けて
教授 修士（児童学）	矢 澤 睦	YAZAWA Atsushi	教育学	多文化・多様性教育の多元的アプローチ
教授 博士（工学）	矢 島 邦 昭	YAJIMA Kuniaki	電気工学 / 電子工学	①生体情報を用いた集中度の客観的評価 ②DXを活用した教育変革(メタバース/サイバネティック・アバターデザイン/PBL)
教授 工学修士	脇 山 俊一郎	WAKIYAMA Shunichiro	計算機科学	エリア放送を用いた地域情報発信基盤の構築
准教授 博士（情報科学）	和 泉 諭	IZUMI Satoru	計算機科学	SDN を用いたネットワーク管理・制御に関する研究
准教授 博士（工学）	大 場 譲	OHBA Yuzuru	機械工学	実用へ向けた制御技術の研究
准教授 博士（理学）	加賀谷 美 佳	KAGAYA Mika	観測天文学	ガンマ線イメージングカメラの開発
准教授 博士（文学）	笠 松 直	KASAMATSU Sunao	東洋哲学・歴史言語学	古インドアリア語文献群の歴史言語学的研究

職名・学位	氏名		専門分野	研究テーマ
准教授 博士（理学）	兼 下 英 司	KANESHITA Eiji	物性物理学	高温超伝導体の磁気秩序相及びクラスレート化合物における励起状態の研究
准教授 修士（障害科学）	兼 村 裕 介	KANEMURA Yusuke	その他	ラグビーフットボールの普及・育成
嘱託准教授 修士（情報科学）	菅 野 浩 徳	KANNO Hironori	計算機科学	情報流通基盤技術の研究開発
准教授 博士（教育）	菅 野 雅 代	KANNO Masayo	応用言語学	言語教師認知、感情制御理論、質的データ収集方法
准教授 修士（文学）	小 林 英 治	KOBAYASHI Eiji	英語教育学、英文学	授業研究、英文学研究（モダニズム）
准教授 博士（工学）	小 林 秀 幸	KOBAYASHI Hideyuki	情報通信工学	IoT、屋内位置推定などの無線通信システムの研究
准教授 博士（工学）	佐久間 実 緒	SAKUMA Mio	その他工学	言語機能訓練および視空間認知訓練のための支援システムに関する研究
准教授 博士（工学）	佐々木 正 明	SASAKI Masaaki	電気工学 / 電子工学	イメージセンサ上への機能回路集積
准教授 博士（理学）	佐 藤 健太郎	SATO Kentaro	物性物理学	原子層物質の共鳴ラマン分光
准教授 博士（理学）	下 田 泰 史	SHIMODA Taishi	解析学	2 階偏微分作用素の準楕円性の研究・非自己共役作用素のスペクトル解析
准教授 博士（工学）	末 永 貴 俊	SUENAGA Takatoshi	その他	人と人、人と機械をつなぐ技術の研究
准教授 博士（工学）	鈴 木 順	SUZUKI Jun	電気工学 / 電子工学	機能を満たしたままでコンパクトなデバイス及びシステムを製作する研究
准教授 博士（工学）	張 曉 勇	ZHANG Xiaoyong	電気工学 / 電子工学	高精度・高速デジタル画像処理・認識に関する研究
准教授 博士（理学）	長谷部 一 気	HASEBE Kazuki	素粒子物理学	トポロジ的物質の数理と物理
准教授 博士（理学）	林 航 平	HAYASHI Kohei	宇宙物理学	近傍銀河における暗黒物質探査研究、銀河形成論
准教授 博士（工学）	速 水 健 一	HAYAMI Ken-ichi	計算機科学	ネットワーク等の応用ソフトウェアの開発
准教授 博士（情報科学）	藤 原 和 彦	FUJIWARA Kazuhiko	情報学 / インフォマティクス	パターン認識を活用したソフトウェアの開発
准教授 博士（情報科学）	力 武 克 彰	RIKITAKE Yoshiaki	計算機科学	価値あるソフトウェアを生み出すための開発支援に関する研究
助教 修士（文学）	犬 飼 亜有美	INUKAI Ayumi	日本語教育学	日本語学習者の雑談における聞き手行動の習得に関する研究
助教 博士（国際文化）	朱 琳	ZHU Lin	国際文化学	近代日中文化・思想交渉史に関する研究
助教 修士（体育学）	東 畑 陽 介	TOHATA Yosuke	その他	技能習得・動作改善のためのトレーニング法の開発
助教 博士（工学）	古 市 朋 之	FURUICHI Tomoyuki	通信工学 / マイクロ波工学	次世代ワイヤレス IoT 実現のための無線機ハードウェアおよび通信システムの研究
助教 修士（体育学）	古 内 孝 明	FURUUCHI Takaaki	体育科教育学、柔道、武道論	協同学習等の学習指導モデルの検証、柔道授業の教材開発、柔道コーチング
助教 博士（学術）	ワーナー 川原 ジェシー	WANNER KAWAHARA Jessie	言語科学	バイリンガルの単語表象に関する研究

名取キャンパス教員一覧《職名毎、50音順》

職名・学位	氏名		専門分野	研究テーマ
教授 博士（工学）	浅 田 格	ASADA Kaku	材料工学	鉄鋼室化における硬化層組織制御、室素固溶コバルトの磁氣的性質
教授 博士（文学）	伊 師 華 江	ISHI Hanae	感性情報学	人間の感性情報処理に関する研究
教授 博士（工学）	石 川 信 幸	ISHIKAWA Nobuyuki	機械工学	低密度エネルギーの回収・再生・変換
教授 博士（工学）	伊 藤 昌 彦	ITO Masahiko	機械工学	歯車装置系の振動抑制制御
教授 博士（工学）	大 町 方 子	OMACHI Masako	パターン認識	画像の高精度認識に関する研究
教授 修士（教育学）	岡 崎 久美子	OKAZAKI Kumiko	英語教育	学生の英語力向上に関する研究
教授 博士（情報科学）	北 島 宏 之	KITAJIMA Hiroyuki	計算機科学	高性能低消費電力を目指した計算機アーキテクチャ
教授 博士（学術）	葛 原 俊 介	KUZUHARA Shunsuke	材料工学	使用済みリチウムイオン二次電池の適正処理方法の確立と金属資源価値評価
教授 工学修士	熊 谷 晃 一	KUMAGAI Koichi	物性物理学	有機・無機形態機能材料の物性とその応用
教授 博士（工学）	小 林 仁	KOBAYASHI Hiroshi	建築学	現場における換気設備の開口特性の非接触型簡易測定の開発
教授 博士（工学）	今 野 一 弥	KONNO Kazuya	材料工学	機能性金属材料の組織制御と機械的特性向上に関する研究
教授 博士（工学）	坂 口 大 洋	SAKAGUCHI Taiyou	建築計画	公共施設計画におけるサステナビリティ
教授 博士（工学）	相 模 誓 雄	SAGAMI Chikao	建築学	「近世期の御蔵所の空間構成原理及び地方性」「歴史的建造物の保存・活用に関する研究調査」
教授 博士（工学）	佐 藤 友 章	SATO Tomoaki	化学工学	環境にやさしい粉づくりと評価
教授 修士（スポーツ科学）	柴 田 尚 都	SHIBATA Naoto	その他	①ラグビーの指導法と戦略戦術について ②ラグビーを通じた人間教育
教授 博士（工学）	武 田 光 博	TAKEDA Mitsuhiro	材料工学	ヘテロ構造を導入した構造用材料の開発および電子顕微鏡による微細構造解析
嘱託教授 博士（工学）	長 澤 修 一	NAGASAWA Shuichi	物理教育、物性理論	力学・熱力学・電磁気学の効果的教育法、物質中の電磁波（光）の特性
教授 博士（理学）	永 弘 進一郎	NAGAIHIRO Shinichiro	力学	自由境界を持つ流れのシミュレーション技術
嘱託教授 工学博士	中 村 富 雄	NAKAMURA Tomio	制御工学	予測制御系の設計に関する研究
教授 工学修士	野 角 光 治	NOGAKU Mitsuharu	半導体工学	光半導体の機能化に関する研究
教授 博士（工学）	飯 藤 将 之	HANDOU Masayuki	建築学	建築構造物の耐震性評価
教授 博士（工学）	本 郷 哲	HONGO Satoshi	音響信号処理	音響信号処理を用いた非破壊検査応用
教授 博士（工学）	山 田 洋	YAMADA Hiroshi	電気工学 / 電子工学	環境調和型電力・磁気応用システムの開発
嘱託教授 理学博士	吉 木 宏 之	YOSHIKI Hiroyuki	プラズマ応用科学	大気圧プラズマによる金ナノ粒子のオンサイト合成の研究

職名・学位	氏名		専門分野	研究テーマ
教授 博士（工学）	若 生 一 広	WAKO Kazuhiro	電気工学 / 電子工学	光を応用した、新たな光学デバイス・光学システムの研究開発・実用化
准教授 博士（理学）	井 海 寿 俊	IKAI Hisatoshi	代数学	代数構造の基礎研究
准教授 博士（工学）	伊 東 航	ITO Wataru	材料工学	組織制御を用いた機能性金属材料の特性向上に関する研究
准教授 博士（文学）	梅 木 俊 輔	UMEKI Shunsuke	日本語教育学	外国人接触場面の母国話者によるコミュニケーション管理に関する研究
准教授 博士（工学）	菊 池 義 浩	KIKUCHI Yoshihiro	建築学	農村や地方都市における地域生活空間の計画
准教授 博士（工学）	熊 谷 進	KUMAGAI Susumu	材料工学	各種構造材料の破壊と変形
准教授 修士（文学）	黒 澤 佑 司	KUROSAWA Yuji	日本近代文学・国語教育学	日本近代文学創成期の研究・国語教育における授業デザインの研究開発
准教授 博士（工学）	権 代 由 範	GONDAI Yoshinori	建築学・コンクリート工学	寒冷地コンクリートの長寿命・高耐久化に関する研究
准教授 博士（情報科学）	佐 藤 隆	SATO Takashi	電気工学 / 電子工学	横断歩道における視覚障害者の歩行支援
准教授 博士（工学）	佐 藤 拓	SATO Taku	電気工学 / 電子工学	高信頼性を有するワイヤレス給電
准教授 博士（工学）	佐 藤 徹 雄	SATO Tetsuo	有機化学	遷移金属錯体触媒を用いた新規有機合成反応の開発ならびに機能性有機材料の合成
准教授 博士（理学）	須 藤 広 志	SUDO Hiroshi	電波天文学	電波による恒星およびブラックホールの観測的研究
准教授 博士（工学）	高 橋 学	TAKAHASHI Manabu	機械工学	超音波を用いた製造プロセスモニタリング
准教授 博士（工学）	田 須 ニシス	DAS Nishith	機械工学	高圧高温環境を想定した構造材料の「腐食の基本的メカニズム」
准教授 博士（理学）	谷 垣 美 保	TANIGAKI Miho	数学一般	算額の調査と解説を中心とした和算の研究と数学教育への活用
准教授 博士（文学）	徳 竹 亜紀子	TOKUTAKE Akiko	歴史学	日本古代造営事業の研究、算額奉納文化からみる和算の広がり地域社会
准教授 博士（工学）	野 呂 秀 太	NORO Shuta	機械工学	境界層の受容性
准教授 博士（工学）	藤 田 智 己	FUJITA Tomomi	建築学	建築構造物の安全と機能維持を実現する耐震・免震・制振システムの開発
准教授 博士（工学）	松 原 正 樹	MATSUBARA Masaki	材料工学	新規有機無機ハイブリッドナノ材料の開発
准教授 博士（工学）	森 真奈美	MORI Manami	材料工学	構造材料の組織制御および機械的特性向上に関する研究
准教授 博士（工学）	柳 生 穂 高	YAGYU Hotaka	物性物理学	①鉛フリーペロブスカイト型太陽電池の開発 ②銅酸化物高温超伝導体の超伝導転移温度の改善
准教授 修士（文学）	油 座 圭 祐	YUZA Keisuke	近代日本思想史	共同体論
准教授 博士（工学）	吉 野 裕 貴	YOSHINO Yuki	建築学	自然災害における大空間構造物の座屈に対する保有性能評価
准教授 修士（英語学）	若 生 深 雪	WAKO Miyuki	外国語教育	分野横断的アプローチによるグローバルシティズンシップ教育授業の設計
准教授 博士（情報科学）	渡 邊 隆	WATANABE Takashi	機械工学	画像計測と検査

職名・学位	氏名		専門分野	研究テーマ
助教 博士（国際文化）	閻 秋 君	YAN Qiujun	国際文化学	文化触変の視点からみる19世紀東アジアの近代化
助教 修士（文学）	大 塚 聖	OTSUKA Satoshi	英語教育	スピーキングにおける流暢さ向上の実践研究
助教 博士（工学）	角 館 俊 行	KAKUDATE Toshiyuki	電気電子材料工学、 薄膜・表面界面物性	二次元材料と有機薄膜の構造物性に関する研究および計測技術の開発
助教 博士（工学）	小 松 瞭	KOMATSU Akira	機械工学	身体運動と構造の臨床バイオメカニクス
助教 博士（理学）	鈴 木 龍 樹	SUZUKI Ryuju	材料工学	有機固体の結晶成長制御および光学特性評価
助教 修士（文学）	林 俊一朗	HAYASHI Shunichiro	アメリカ文学	19・20世紀のアメリカ文学における散文作品
助教 博士（工学）	本 間 一 平	HONMA Ippei	流体工学、レオロジー	ソフトマターの降伏・流動特性の解明
助教 修士（工学）	松 浦 巧	MATSUURA Takumi	量子情報科学	量子技術の社会実装に向けた研究
助教 博士（工学）	山野内 敬	YAMANOUCHI Takashi	数理解論、物性基礎	プラズマ中の微粒子の挙動と微粒子群の形成構造の解明

総合工学科

今日のように地球規模の環境破壊が急速に進み、社会の国際化がめざましい勢いで発展する中では、広い視野に立って人類共通の利益に奉仕できる技術者を育てることが重要です。そのために本校は技術者として必要な専門科目の教育はもとより、一般教養科目も重視し、力を入れて教育をしています。人文社会系科目に視聴覚教材を積極的に取り入れたり、理数系科目では実験実習を多く取り入れ、楽しく学びながら基礎的な力を養うことができるように工夫しています。



アクティブラーニングを取り入れた授業

教育課程【一般科目 I 類】

総合工学科（情報システムコース、情報通信コース、知能エレクトロニクスコース）

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	2	2					留学生以外 対象科目
	地理総合	2	2					
	公共	2	2					
	英語AⅠ	2	2					
	英語BⅠ	2	2					
	保健体育Ⅰ	3	3					
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	2	2					
	基礎数学C	2	2					
	物理Ⅰ	2	2					
	化学Ⅰ	2	2					留学生以外 対象科目
	国語Ⅱ	2		2				
	歴史総合	2		2				
	英語AⅡ	2		2				
	英語BⅡ	2		2				
	保健体育Ⅱ	2		2				
	微分積分Ⅰ	4		4				
	代数幾何	2		2				
	物理Ⅱ	2		2				
	化学Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			留学生以外 対象科目
	英語AⅢ	2			2			
	英語BⅢ	2			2			
	保健体育Ⅲ	2			2			
	微分積分Ⅱ	4			4			
	物理Ⅲ	2			2			
	生物学	2					2	
	地球科学	2					2	
	日本語Ⅰ	2	2					留学生対象科目
	日本語Ⅱ	2	2					
	技術者の日本語Ⅰ	2	2					
	技術者の日本語Ⅱ	2	2					
	日本の社会と文化Ⅰ	2	2					
	日本語Ⅲ	2		2				
	日本語Ⅳ	2		2				
	技術者の日本語Ⅲ	2		2				
	日本の社会と文化Ⅱ	2		2				
	日本語Ⅴ	2			2			
	日本語Ⅵ	2			2			
	日本語Ⅶ	2				2		
	小 計	63	25	20	14	0	4	
	小 計(留学生)	61	25	20	10	2	4	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	芸術	1	1					
	化学特論	2				2		
	国語Ⅳ	2				2		
	総合英語Ⅰ	2				2		
	総合英語Ⅱ	2				2		
	政治経済	2				2		
	法学憲法	2				2		
	人文科学	2				2		
	健康とスポーツ	1				1		
	総合英語Ⅲ	2					2	
	社会科学	2					2	
	長期インターンシップA	4					4	
	総合科目A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	数学	2			2			留学生対象科目
	小 計	26以上	3以上	2以上	2以上	17以上	10以上	
	小 計(留学生)	28以上	3以上	2以上	4以上	17以上	10以上	

開設単位数計	89以上	28以上	22以上	16以上	17以上	14以上	
開設単位数計(留学生)	89以上	28以上	22以上	14以上	19以上	14以上	
特別活動	90時間	30時間	30時間	30時間	—	—	

準学士課程

名取キャンパス

総合工学科

教育課程【一般科目 II・Ⅲ類】

総合工学科(電気電子コース、マテリアルコース、機械システムコース、情報と創造コース、建築デザインコース)

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	2	2					留學生以外 対象科目
	地理総合	2	2					
	公共	2	2					
	英語AⅠ	2	2					
	英語BⅠ	2	2					
	保健体育Ⅰ	3	3					留學生以外 対象科目
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	2	2					
	化学Ⅰ	2	2					
	物理Ⅰ	2	2					
	国語Ⅱ	2		2				留學生以外 対象科目
	歴史総合	2		2				
	英語AⅡ	2		2				
	英語BⅡ	2		2				
	保健体育Ⅱ	2		2				
	基礎数学C	2		2				留學生以外 対象科目
	微分積分Ⅰ	4		4				
	代数幾何	2		2				
	化学Ⅱ	2		2				
	物理Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			留學生以外 対象科目
	英語AⅢ	2			2			
	英語BⅢ	2			2			
	保健体育Ⅲ	2			2			
	微分積分Ⅱ	4			4			
	物理Ⅲ	2			2			留學生以外 対象科目
	統計学	1			1			
	総合英語Ⅰ	2				2		
	総合英語Ⅱ	2				2		
	総合英語Ⅲ	2					2	
	生物学	2					2	留學生対象科目
	地球科学	2					2	
	数理統計	2					2	
	日本語Ⅰ	2	2					
	日本語Ⅱ	2	2					
	技術者の日本語Ⅰ	2	2					留學生対象科目
	技術者の日本語Ⅱ	2	2					
	日本の社会と文化Ⅰ	2	2					
	日本語Ⅲ	2		2				
	日本語Ⅳ	2		2				
	技術者の日本語Ⅲ	2		2				留學生対象科目
	日本の社会と文化Ⅱ	2		2				
	日本語Ⅴ	6			6			
	日本語Ⅵ	4				4		
	小 計	72	23	22	15	4	8	
	小 計(留學生)	70	23	22	15	4	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	芸術	1	1					
	ライフマネジメント	1		1				
	化学特論	2				2		
	国語Ⅳ	2				2		留學生以外 対象科目
	人間と文化	2				2		
	法学憲法	2				2		
	人文科学	2				2		
	健康とスポーツ	1				1		
	社会科学	2					2	
	長期インターンシップA	4					4	
	総合科目A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	21以上	3以上	3以上	2以上	13以上	8以上	
	小 計(留學生)	17以上	3以上	3以上	2以上	9以上	8以上	

開設単位数計	93以上	26以上	25以上	17以上	17以上	16以上	
開設単位数計(留學生)	87以上	26以上	25以上	17以上	13以上	14以上	

特別活動	90時間	30時間	30時間	30時間	—	—	
------	------	------	------	------	---	---	--



基礎数学Aの授業風景



国語Ⅲの授業風景

I 類 | 情報システムコース

情報システムコースは、情報システムの視点に立った考え方や社会の中での役割を理解して、ソフトウェア技術を核に幅広い分野の人々と協力して社会の発展に貢献できる人材の育成を目指しています。このために、ソフトウェア制作に必要な知識、コンピュータの仕組みとコントロール手法、情報システムを構築して運用する技術、アプリケーションでネットワークを使う知識、コンピュータ同士をネットワークでつなぐ技術など、プログラミングの初歩からアプリケーション、人工知能、コンピュータサイエンスに至るまでソフトウェアに必要なことを幅広く学ぶことができます。

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	コンピュータリテラシ	2	2					
	デジタル技術基礎	1	1					
	プログラミング基礎	1		1				
	プログラミングⅠ	1		1				
	電気回路基礎	2		2				
	デジタル技術Ⅰ	2		2				
	プロジェクト実習Ⅰ	1		1				
	回路実習基礎Ⅰ	2		2				
	プログラミングⅡ	1			1			
	プログラミングⅢ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造	1			1			
	コンピュータシステム基礎	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	デジタル技術Ⅱ	1			1			
	組込みシステムⅠ	1			1			
	組込みシステムⅡ	1			1			
	ネットワーク基礎	2			2			
	プロジェクト管理	1			1			
	データ・AIの基礎	1			1			
	プロジェクト実習Ⅱ	1			1			
	回路実習基礎Ⅱ	2			2			
	コンピュータシステム応用	2				2		
	IoT・エッジコンピューティング	1				1		
	ネットワークアーキテクチャ	2				2		
	ネットワークプログラミング	1				1		
	ソフトウェア工学基礎	1				1		
	データ工学	1				1		
	ソフトウェア分析設計	1				1		
	ICTシステム開発演習	1				1		
	情報数学	2				2		
	情報セキュリティ	2				2		
	確率・統計	1				1		
	データリテラシ	2				2		
	マルチメディア情報	1				1		
	応用数学A	1				1		
	応用数学B	1				1		
	プロジェクト実習Ⅲ	1				1		
	第Ⅰ類実験Ⅰ	1				1		
	第Ⅰ類実験Ⅱ	2				2		
	オペレーティングシステム	1					1	
	数値解析	1					1	
	技術者倫理	2					2	
	人工知能A	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	卒業研究	12					12	
	小計	75	7	9	17	24	18	
	小計(留学生)	75	7	9	17	24	18	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	電気回路演習	2		2				
	電気回路	2			2			
	電子回路	2				2		
	組込みシステムⅢ	1				1		
	ネットワーク技術	2				2		
	アイデアモデリング実習	1				1		
	電磁気学	2				2		
	融合型PBL	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	コンピュータアーキテクチャ	2					2	
	組込みシステム応用	1					1	
	応用ネットワーク技術	2					2	
	形式手法入門	2					2	
	人工知能B	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	一般科学演習Ⅰ	2			2			対象科目 留学生
	一般科学演習Ⅱ	2				2		
	一般科学演習Ⅲ	2				2		
	小計	30以上	2以上	4以上	4以上	13以上	15以上	
	小計(留学生)	36以上	2以上	4以上	6以上	17以上	15以上	

開設単位数計	105以上	9以上	13以上	21以上	37以上	33以上	
開設単位数計(留学生)	111以上	9以上	13以上	23以上	41以上	33以上	

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

なお、他コースの専門科目は、選択科目として専門科目に含めることができる。



制御工学



総合工学基礎

準学士課程

広瀬キャンパス

I 類 | 情報通信コース

インターネット、携帯電話、デジタル放送など、今や情報通信ネットワークは社会にとって必要不可欠な基盤となっています。様々なシステムが相互に関連しあう一方、安定した運用が求められる情報基盤においては、通信・ネットワーク・コンピュータに関する幅広い知識と技術が求められます。情報通信コースでは、電気電子・通信、ネットワーク、計算機システム等の情報・電子系に必要なとされる基本的な知識の上に、主に通信とネットワークに関する技術を体系的に習得させることで、情報社会の発展とその基盤を担う人材を育成します。

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	コンピュータリテラシ	2	2					
	デジタル技術基礎	1	1					
	プログラミング基礎	1		1				
	プログラミングⅠ	1		1				
	電気回路基礎	2		2				
	デジタル技術Ⅰ	2		2				
	プロジェクト実習Ⅰ	1		1				
	回路実習基礎Ⅰ	2		2				
	プログラミングⅡ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造	1			1			
	コンピュータシステム基礎	2			2			
	電気回路	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	デジタル技術Ⅱ	1			1			
	組込みシステムⅠ	1			1			
	組込みシステムⅡ	1			1			
	ネットワーク基礎	2			2			
	プロジェクト管理	1			1			
	データ・AIの基礎	1			1			
	プロジェクト実習Ⅱ	1			1			
	回路実習基礎Ⅱ	2			2			
	電子回路	2				2		
	コンピュータシステム応用	2				2		
	ネットワーク技術	2				2		
	ネットワークアーキテクチャ	2				2		
	ソフトウェア工学基礎	1				1		
	データ工学	1				1		
	ICTシステム開発演習	1				1		
	情報数学	2				2		
	情報セキュリティ	2				2		
	確率・統計	1				1		
	電気電子計測	1				1		
	電磁気学	2				2		
	応用数学A	1				1		
	応用数学B	1				1		
	プロジェクト実習Ⅲ	1				1		
	第Ⅰ類実験Ⅰ	1				1		
	第Ⅰ類実験Ⅱ	2				2		
	オペレーティングシステム	1					1	
	技術者倫理	2					2	
	知的財産概論	1					1	
	卒業研究	12					12	
	小 計	75	7	9	18	25	16	
	小 計(留学生)	75	7	9	18	25	16	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	電気回路演習	2		2				
	IoT・エッジコンピューティング	1				1		
	データリテラシ	2				2		
	組込みシステムⅢ	1				1		
	ネットワークプログラミング	1				1		
	通信法規	1				1		
	高周波回路	1				1		
	電磁波工学Ⅰ	1				1		
	マルチメディア情報	1				1		
	融合型PBL	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	組込みシステム応用	1					1	
	応用ネットワーク技術	2					2	
	人工知能A	1					1	
	通信計測	1					1	
	無線通信システム	1					1	
	電磁波工学Ⅱ	1					1	
	数値解析	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
対象科目	一般科学演習Ⅰ	2			2			留学生 対象科目
	一般科学演習Ⅱ	2				2		
	一般科学演習Ⅲ	2				2		
	小 計	29以上	2以上	4以上	2以上	14以上	15以上	
小 計(留学生)	小 計(留学生)	35以上	2以上	4以上	4以上	18以上	15以上	

開設単位数計	104以上	9以上	13以上	20以上	39以上	31以上
開設単位数計(留学生)	110以上	9以上	13以上	22以上	43以上	31以上

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

なお、他コースの専門科目は、選択科目として専門科目に含めることができる。



エリア放送

I 類 | 知能エレクトロニクスコース

エレクトロニクス機器の中核となるハードウェア技術をベースとして、機器に知的で柔軟な機能を持たせるためのソフトウェアや、機器を外部のコンピュータとつないでシステム化することなども視野に入れたIoT時代に対応できる技術者の育成を目指しています。知能エレクトロニクスコースでは、電子回路や電磁気学のような基礎知識及びマイクロコンピュータやプログラミングなどの基盤技術に加えて、電子デバイス・材料のようなエレクトロニクス、さらにロボティクスやネットワーク技術などについても幅広く学ぶことによって、色々な分野の人々と協力しながら創造的なものづくりに貢献する力を獲得できます。

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	コンピュータリテラシ	2	2					
	デジタル技術基礎	1	1					
	プログラミング基礎	1		1				
	プログラミングⅠ	1		1				
	電気回路基礎	2		2				
	デジタル技術Ⅰ	2		2				
	プロジェクト実習Ⅰ	1		1				
	回路実習基礎Ⅰ	2		2				
	プログラミングⅡ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造	1			1			
	コンピュータシステム基礎	2			2			
	電気回路	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	デジタル技術Ⅱ	1			1			
	組込みシステムⅠ	1			1			
	組込みシステムⅡ	1			1			
	ネットワーク基礎	2			2			
	プロジェクト管理	1			1			
	データ・AIの基礎	1			1			
	プロジェクト実習Ⅱ	1			1			
	回路実習基礎Ⅱ	2			2			
	電子回路	2				2		
	コンピュータシステム応用	2				2		
	組込みシステムⅢ	1				1		
	ソフトウェア工学基礎	1				1		
	ICTシステム開発演習	1				1		
	情報数学	2				2		
	確率・統計	1				1		
	電子デバイスⅠ	2				2		
	電気電子計測	1				1		
	電磁気学	2				2		
	応用数学A	1				1		
	応用数学B	1				1		
	プロジェクト実習Ⅲ	1				1		
	第Ⅰ類実験Ⅰ	1				1		
	第Ⅰ類実験Ⅱ	2				2		
	電子デバイスⅡ	2					2	
	技術者倫理	2					2	
	知的財産概論	1					1	
	卒業研究	12					12	
	小 計	72	7	9	18	21	17	
	小 計(留学生)	72	7	9	18	21	17	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	電気回路演習	2		2				
	プログラミングⅢ	1			1			
	IoT・エッジコンピューティング	1				1		
	データリテラシ	2				2		
	アイデアモデリング実習	1				1		
	メカニカルモデリング実習	1				1		
	ネットワークアーキテクチャ	2				2		
	データ工学	1				1		
	情報セキュリティ	2				2		
	マルチメディア情報	1				1		
	融合型PBL	2				2		
	インターンシップ	1~2				1~2		
	オペレーティングシステム	1					1	
	数値解析	1					1	
	コンピュータアーキテクチャ	2					2	
	組込みシステム応用	1					1	
	ロボット制御実習	1					1	
	人工知能A	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
対 象 科 目 留 学 生	一般科学演習Ⅰ	2			2			
	一般科学演習Ⅱ	2				2		
	一般科学演習Ⅲ	2				2		
	小 計	31以上	2以上	4以上	3以上	16以上	14以上	
対 象 科 目 留 学 生	小 計(留学生)	37以上	2以上	4以上	5以上	20以上	14以上	

開設単位数計	103以上	9以上	13以上	21以上	37以上	31以上	
開設単位数計(留学生)	109以上	9以上	13以上	23以上	41以上	31以上	

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

なお、他コースの専門科目は、選択科目として専門科目に含めることができる。



電気回路特性の測定
(プロジェクト実習)



マイコンボードを用いた組み込み
システムの実習
(マイクロコンピュータ応用)

準学士課程

名取キャンパス

Ⅱ 類 | 電気電子コース

電気製品や情報機器、エネルギーシステムなど様々な場面で利用される電気電子技術を学びます。電気基礎からエレクトロニクス、エネルギーまでの幅広い技術を習得し、実践力と複合的視野、挑戦するマインドを持ち新しい社会の扉を開く技術者を育成します。

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	工学基礎実験Ⅰ	2	2					
	情報Ⅰ	2	2					
	工学基礎実験Ⅱ	2		2				
	製図	2		2				
	基礎電気	2		2				
	ものづくり実習	2		2				
	情報Ⅱ	2		2				
	アナログ回路	2			2			
	プログラミングⅠ	1			1			
	電気計測Ⅰ	1			1			
	電気回路Ⅰ	2			2			
	電磁気学Ⅰ	2			2			
	テクニカルライティング	1			1			
	電気電子工学実験Ⅰ	2			2			
	電気電子工学演習Ⅰ	1			1			
	応用物理	1				1		
	解析学	2				2		
	応用数学	2				2		
	電気回路Ⅱ	2				2		
	制御工学	2				2		
	電気機器Ⅰ	2				2		
	総合セミナー	2				2		
	工業倫理	1				1		
	電気電子工学実験Ⅱ	4				4		
	電気電子工学演習Ⅱ	1				1		
	電力学	2					2	
	電気電子工学実験Ⅲ	2					2	
	卒業研究	12					12	
	小 計	65	8	10	12	19	16	
	小 計(留学生)	65	8	10	12	19	16	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	デジタル回路	2			2			
	プログラミングⅡ	1			1			
	電気計測Ⅱ	2				2		
	電気機器Ⅱ	2				2		
	電磁気学Ⅱ	2				2		
	マネジメント	1				1		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	協学実習	1				1	1	
	経営工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	パワーエレクトロニクス	1					1	
	電気法規施設管理	1					1	
	エネルギー変換工学	1					1	
	半導体工学	2					2	
	通信工学	2					2	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	29以上	2以上	2以上	5以上	11以上	18以上	
	小 計(留学生)	29以上	2以上	2以上	5以上	11以上	18以上	

開設単位数計	94以上	10以上	12以上	17以上	30以上	34以上	
開設単位数計(留学生)	94以上	10以上	12以上	17以上	30以上	34以上	

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

なお、他コースの専門科目は、選択科目として専門科目に含めることができる。



電気電子工学実験



卒業研究（新方式 高輝度曲面スクリーンの開発）

Ⅱ 類 | マテリアルコース

未来の製品を作るために必要となる材料科学や化学について深く学びます。電子顕微鏡や分析機器を用いた実験、金属やセラミックスに関する授業を通じて材料技術と知識を習得し、持続可能な社会を実現する新たな材料の開発に挑戦します。

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	工学基礎実験Ⅰ	2	2					
	情報Ⅰ	2	2					
	工学基礎実験Ⅱ	2		2				
	製図	2		2				
	基礎電気	2		2				
	ものづくり実習	2		2				
	情報Ⅱ	2		2				
	プログラミングⅠ	1			1			
	プログラミングⅡ	1			1			
	基礎材料学	1			1			
	材料組織学Ⅰ	1			1			
	有機化学Ⅰ	1			1			
	材料物性Ⅰ	1			1			
	材料物性Ⅱ	1			1			
	工業力学	1			1			
	無機化学	1			1			
	物理化学Ⅰ	1			1			
	テクニカルライティング	1			1			
	マテリアル工学実験Ⅰ	4			4			
	応用物理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	工業倫理	1				1		
	構造材料	2				2		
	材料力学Ⅰ	1				1		
	材料力学Ⅱ	1				1		
	材料組織学Ⅱ	1				1		
	材料物性Ⅲ	2				2		
	物理化学Ⅱ	2				2		
	解析学	2				2		
	応用数学	2				2		
	マテリアル工学実験Ⅱ	4				4		
	環境工学	1					1	
	有機無機材料	2					2	
	卒業研究	12					12	
	小 計	69	8	10	15	21	15	
	小 計(留学生)	69	8	10	15	21	15	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	基礎生物	1			1			
	有機化学Ⅱ	2				2		
	環境分析実験	2				2		
	機器分析	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	協学実習	1				1	1	
	マネジメント	1				1		
	経営工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	機能材料	2					2	
	加工プロセス工学	2					2	
	化学プロセス工学	2					2	
	電気化学	2					2	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	27以上	2以上	2以上	3以上	11以上	18以上	
	小 計(留学生)	27以上	2以上	2以上	3以上	11以上	18以上	

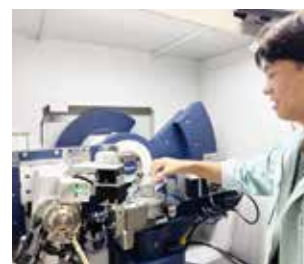
開設単位数計	96以上	10以上	12以上	18以上	32以上	33以上	
開設単位数計(留学生)	96以上	10以上	12以上	18以上	32以上	33以上	

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

なお、他コースの専門科目は、選択科目として専門科目に含めることができる。



電子顕微鏡を用いた分析実験



卒業研究 (X線結晶構造解析)

準学士課程

名取キャンパス

Ⅱ 類 | 機械システムコース

機械システムコースでは、自動車やロボットなどの製品を通じて社会生活を豊かにする技術を学びます。複合的な知識や能力、安全や機能を考慮したものづくり技術を習得することで、未来社会の課題解決と発展に貢献できる技術者を育成します。

教 育 課 程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	工学基礎実験Ⅰ	2	2					
	情報Ⅰ	2	2					
	工学基礎実験Ⅱ	2		2				
	製図	2		2				
	基礎電気	2		2				
	ものづくり実習	2		2				
	情報Ⅱ	2		2				
	工業力学	1			1			
	プログラミングⅠ	1			1			
	プログラミングⅡ	1			1			
	電気回路Ⅰ	2			2			
	材料組織学Ⅰ	1			1			
	テクニカルライティング	1			1			
	機構学	1			1			
	設計製図Ⅰ	2			2			
	設計製図Ⅱ	2			2			
	機械工作法	1			1			
	工作実習	3			3			
	応用物理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	工業倫理	1				1		
	解析学	2				2		
	応用数学	2				2		
	材料力学Ⅰ	1				1		
	材料力学Ⅱ	1				1		
	熱力学Ⅰ	2				2		
	機械工学実験Ⅰ	4				4		
	流体力学Ⅰ	2				2		
	機械工学実験Ⅱ	4					4	
	卒業研究	12					12	
	小 計	68	8	10	16	18	16	
	小 計(留学生)	68	8	10	16	18	16	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	計測工学	1				1		
	機械力学	1				1		
	設計製図Ⅲ	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	協学実習	1				1	1	
	マネジメント	1				1		
	経営工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	制御工学	2					2	
	生体機械工学	1					1	
	熱力学Ⅱ	2					2	
	流体力学Ⅱ	2					2	
	ロボット工学	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	25以上	2以上	2以上	2以上	9以上	19以上	
	小 計(留学生)	25以上	2以上	2以上	2以上	9以上	19以上	
	開設単位数計	93以上	10以上	12以上	18以上	27以上	35以上	
	開設単位数計(留学生)	93以上	10以上	12以上	18以上	27以上	35以上	

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

なお、他コースの専門科目は、選択科目として専門科目に含めることができる。



卒業研究
(社会に役立つ画像解析の研究)



ものづくり実習

Ⅱ 類 | 情報と創造コース

情報科学の学習と並行して、仙台駅前の「仙台ベース」などを拠点に企業や地域を巡る「回遊型授業」を展開します。ものづくりと情報のスキルを習得し、課題解決力やコミュニケーション能力を磨くことで変化する時代に対応できる人材を育成します。

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	工学基礎実験Ⅰ	2	2					
	情報Ⅰ	2	2					
	工学基礎実験Ⅱ	2		2				
	製図	2		2				
	基礎電気	2		2				
	ものづくり実習	2		2				
	情報Ⅱ	2		2				
	プログラミングⅠ	1			1			
	プログラミングⅡ	1			1			
	電気回路Ⅰ	2			2			
	デジタルデザインⅠ	1			1			
	デジタルデザインⅡ	1			1			
	数値計算法	1			1			
	電気計測Ⅰ	1			1			
	電磁気学Ⅰ	2			2			
	デジタル回路	2			2			
	テクニカルライティング	1			1			
	工業倫理	1				1		
	応用物理	1				1		
	解析学	2				2		
	応用数学	2				2		
	電気回路Ⅱ	2				2		
	データサイエンス入門	2				2		
	データベース基礎	2				2		
	計算機工学	1				1		
	コンピュータシステム基礎	2				2		
	マネジメント	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	デジタル信号処理	1					1	
	情報理論	2					2	
	応用情報工学	2					2	
	デジタルフィールドワーク	4					4	
	卒業研究	12						12
	小 計	70	8	10	13	18	21	
	小 計(留学生)	70	8	10	13	18	21	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	ものづくりフィールドワーク	4			4			
	まちづくりフィールドワーク	4				4		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	協学実習	1				1	1	
	経営工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	20以上	2以上	2以上	6以上	8以上	11以上	
	小 計(留学生)	20以上	2以上	2以上	6以上	8以上	11以上	

開設単位数計	90以上	10以上	12以上	19以上	26以上	32以上	
開設単位数計(留学生)	90以上	10以上	12以上	19以上	26以上	32以上	

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

なお、他コースの専門科目は、選択科目として専門科目に含めることができる。



仙台ベースでの企業や地域と連携した学習活動



メイカースペースを利用した総合工学基礎の授業風景

準学士課程

名取キャンパス

Ⅲ 類 | 建築デザインコース

建築士やプランナーとして持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成します。地域課題を発見するリサーチ手法、災害に負けない最先端の耐震・免震構造、温暖化に対応したエコロジカルな環境デザイン、創造的な都市や建築を設計する理論や技術を学び、高度な提案力と実践力を身に付けます。

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合工学基礎	4	4					
	情報Ⅰ	2	2					
	空間デザイン概論A	1	1					
	空間デザイン概論B	1	1					
	ものづくり実習	2		2				
	情報Ⅱ	2		2				
	建築設計製図Ⅰ	2		2				
	建築構造概論	1		1				
	グラフィックデザイン	1		1				
	構造力学概論	1		1				
	プロジェクト実習Ⅰ	1		1				
	建築設計製図Ⅱ	2			2			
	建築デザイン演習A	2			2			
	建築計画	2			2			
	建築史	2			2			
	人間工学	2			2			
	建築環境工学Ⅰ	2			2			
	建築構造力学Ⅰ	2			2			
	建築材料学Ⅰ	1			1			
	フィールドワーク	1			1			
	テクニカルライティング	1			1			
	応用物理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	工業倫理	1				1		
	建築設計製図Ⅲ	2				2		
	建築デザイン演習B	2				2		
	住居計画	2				2		
	都市計画	2				2		
	設備工学Ⅰ	2				2		
	建築構造学Ⅰ	2				2		
	建築構造力学Ⅱ	2				2		
	建築材料学Ⅱ	2				2		
	建築工学実験	4				4		
	建築構造学Ⅱ	2				2		
	測量・測量実習	2					2	
	建築法規	2					2	
	建築施工	2					2	
	プロジェクト実習Ⅱ	1					1	
	卒業研究	12						12
	小 計	80	8	10	17	26	19	
	小 計(留学生)	80	8	10	17	26	19	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	建築環境工学Ⅱ	2				2		
	建築構造力学Ⅲ	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	協学実習	1				1	1	
	マネジメント	1				1		
	経営工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	都市デザイン演習	2					2	
	設備工学Ⅱ	2					2	
	建築構造力学Ⅳ	2					2	
	建築設計製図Ⅳ	2					2	
	認知科学演習	2					2	
	環境デザイン演習	2					2	
	構造デザイン演習	2					2	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	31以上	2以上	2以上	2以上	9以上	25以上	
	小 計(留学生)	31以上	2以上	2以上	2以上	9以上	25以上	

開設単位数計	111以上	10以上	12以上	19以上	35以上	44以上	
開設単位数計(留学生)	111以上	10以上	12以上	19以上	35以上	44以上	

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

なお、他コースの専門科目は、選択科目として専門科目に含めることができる。



振動実験



建築設計製図エスキース

I～Ⅲ類共通 | 応用科学コース

応用科学コースでは、自然科学的方法論を核として情報・電気電子・機械・材料の知識と技術を身に付けさせ、工学との複眼的視点から社会に貢献できる科学技術者を養成します。

高専において他にはない非常に特徴的なコースですが、国公立大学工学部では、物理工学科や応用物理学科などの名称で理学と工学の分野横断型コースが設定されていることが多いです。変化の激しい科学技術社会や国際競争に立ち向かうために揺るぎのない基礎知識を身に付けることはいずれの分野でも重要視されており、基礎科学が好きで地道な努力を惜しまない学生を歓迎します。本コースには、他コースから4年次に転コース制によって配属され、少人数教育が行われます。本コースに配属された学生は、力学・電磁気学・熱力学・量子力学・統計力学・固体物性論・相対性理論といった物理系基礎科目、及びそれらと工学諸領域との融合科目を体系的に学修します。出身コースに基づく工学的基礎技術を持ちながら、理学的素養も併せ持った複合的視点を展開でき、複雑化する社会で柔軟かつ斬新な概念・成果を創出できる実践的・創造的技術者の養成を実現します。

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報システムコース 情報通信コース 知能エレクトロニクスコース 電気電子コース マテリアルコース 機械システムコース 情報と創造コース 建築デザインコース 上記各コース1～3年次開講科目							
	力学A	2				2		
	力学B	2				2		
	電磁気学A	2				2		
	電磁気学B	2				2		
	熱力学	2				2		
	応用科学セミナーⅠ	1				1		
	応用科学セミナーⅡ	2				2		
	物理学演習A	1				1		
	物理学演習B	1				1		
	物理学演習C	1					1	
	量子力学Ⅰ	2					2	
	統計力学	2					2	
	卒業研究	12					12	
	小計	32				15	17	
	小計(留学生)	32				15	17	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	情報システムコース 情報通信コース 知能エレクトロニクスコース 電気電子コース マテリアルコース 機械システムコース 情報と創造コース 建築デザインコース 上記各コース4～5年次開講科目							
	インターンシップ	1～2				1～2		
	物理数学	1					1	
	量子力学Ⅱ	2					2	
	固体物性論	2					2	
	相対性理論	2					2	
	流体力学	2					2	
	長期インターンシップB	5					5	
	総合科目B	1以上				1以上	1以上	
	特別学修B	1以上				1以上	1以上	
	一般科学演習Ⅱ	2				2		留学生 対象科目
	一般科学演習Ⅲ	2				2		
	小計	17以上				3以上	16以上	
	小計(留学生)	21以上				7以上	16以上	

開設単位数計	49以上				18以上	33以上	
開設単位数計(留学生)	53以上				22以上	33以上	

一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。



教員と学生によるディスカッションの様子

専攻科

広瀬キャンパス

情報電子システム工学専攻

最先端の情報電子社会を支える技術者には、高度な情報電子技術を駆使して問題解決する能力だけでなく、専門性の異なる方々と協力する能力や、社会の問題を国際的視野で考察する能力などが求められます。情報電子システム工学専攻では、本校産学連携振興会をはじめとする企業や学術交流協定を結んでいる海外の諸大学と連携したカリキュラムにより、幅広い教養と情報・電子及び関連分野の高度な専門知識、さらには実践的コミュニケーション能力と国際的視野を養成します。専攻修了後は、国際社会における長期的キャリアを展望できる技術者や研究者への道が開かれます。



産学連携シンポジウムでのポスターセッションの様子



産学連携シンポジウムでの基調講演の聴講風景



知能ロボティクス論の講義風景

教育課程【一般科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻英語Ⅰ	2	2		
	専攻英語Ⅱ	2		2	
	思想史	2		2	
	社会経済学	2	2		
	小 計	8	4	4	
選択科目	工学数学	2	2		
	企業社会学	2	2		
	日本語基礎	2	2		留学生対象科目
	小 計	6	6	0	
開設単位数計		14	10	4	10単位以上修得すること

教 育 課 程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻実験・演習Ⅰ	6	6		
	専攻実験・演習Ⅱ	6		6	
	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	エレクトロニクス論	2	2		
	知能ロボティクス論	2	2		
	コミュニケーション論	2	2		
	ソフトウェア論	2	2		
	情報社会学特論	2	2		
	組込みシステム設計	2	2		
	データ解析	2	2		
	ディジタル信号処理	2	2		
	小 計	42	28	14	
選択科目	専攻実習	6	6		
	物理化学	2		2	
	情報論理学	2		2	
	物質の構造と性質	2		2	
	パワーエレクトロニクス	2		2	
	応用電磁気学	2		2	
	波動伝送工学	2		2	
	デバイス工学	2		2	
	計算機アーキテクチャ	2		2	
	ソフトウェア工学	2		2	
	知識工学	2		2	
	画像処理論	2		2	
	インターネットアーキテクチャ	2		2	
	科学技術特論	1～2	1～2		
	インターンシップA	3～6	3～6		
	インターンシップB	7～12	7～12		
	小 計	41～50	17～26	24	
開設単位数計		83～92	45～54	38	

一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目10単位以上、専門科目52単位以上を修得する。



「人と情報・人工物との社会的相互作用」を題材にした研究

専攻科

名取キャンパス

生産システムデザイン工学専攻

準学士課程で培った工学的素養の上に高度な専門技術を学ぶとともに、横断的な工学知識・技術を学習し、複合領域への対応能力を身に付けます。さらに、産業・地域社会、海外の教育機関と連携した長期(3ヶ月)に渡るインターンシップや実践的な創造工学演習により、高度な技術者に必要なコンピテンシーを身に付けます。こうして、ものづくり過程の全体を見渡し技術の目利きをすることができる、未来のものづくり分野を牽引する技術者を養成します。



創造工学演習発表会



専攻研究Ⅱ



専攻科設計製図

教育課程【一般科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	英語Ⅰ	2	2		
	英語Ⅱ	2		2	
	小計	4	2	2	
選択科目	歴史と文化	2	2		
	社会経済学	2	2		
	線形代数学	2	2		
	確率統計概論	2	2		
	日本語	2	2		留学生対象科目
	小計	10	10	0	
開設単位数計		14	12	2	8単位以上修得すること

教育課程【専門科目】

生産システム工学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小 計	23	15	8	
選択科目	地球環境と都市	2	2		
	環境化学概論	2	2		
	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	専攻実習	2	2		
	生体工学	2		2	
	組織制御学	2	2		
	ナノテクノロジー	2	2		
	固体の力学	2	2		
	材料システム学	2	2		
	物質化学	2		2	
	流れ学	2	2		
	伝熱論	2	2		
	システム制御工学	2		2	
	固体物性工学	2	2		
	物質評価学	2		2	
	電子機能デバイス	2		2	
	応用材料加工学	2		2	
	プラズマ応用工学	2		2	
	応用電子計測	2	2		
	情報工学特論	2	2		
	応用信号処理論	2	2		
	画像処理工学	2		2	
	情報ネットワーク特論	2	2		
	オペレーティングシステム	2	2		
	応用光学	2	2		
	知能情報システム論	2	2		
	インターンシップA	2～4	2～4		
	インターンシップB	5～12	5～12		
	エンジニアリング実習	2～4	2～4		
	小 計	67～78	47～58	20	

開設単位数計	90～101	62～73	28	
--------	--------	-------	----	--

一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上を修得する。

教育課程【専門科目】

建築デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小 計	23	15	8	
選択科目	地球環境と都市	2	2		
	環境化学概論	2	2		
	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	専攻実習	2	2		
	建築設計製図	2	2		
	地域デザイン論	2	2		
	地域・都市計画	2	2		
	感性デザイン	2	2		
	環境物理	2	2		
	構造動力学	2	2		
	材料設計法	2	2		
	建築史特論	2		2	
	施設計画論	2	2		
	色彩工学	2		2	
	環境システムシミュレーション	2		2	
	構造デザイン	2		2	
	建築生産	2	2		
	インターンシップA	2～4	2～4		
	インターンシップB	5～12	5～12		
	エンジニアリング実習	2～4	2～4		
	小 計	49～60	37～48	12	

開設単位数計	72～83	52～63	20	
--------	-------	-------	----	--

一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上を修得する。



「体の中で使うマテリアル」を題材にした研究

教育改革推進センター

教育改革を推進し、教育内容の改善並びに質の向上を目的に、技術・産業の発展に資する人財や、グローバルな視野を持った人財の養成をサポートします。

令和7年1月より次の4つの室に組織を改編し、人財育成推進のための企画及び実施を行います。

グローバル教育推進室

国際的に通用する人間性豊かな人材の養成を目指し、教育方法や教育内容の改善、そして教育の質の向上など、継続的な教育改革を推進しています。また、多様な国際交流プログラムを提供し、学生たちが異なる文化や背景を理解し、共に学び合う環境を創り出しています。さらに、語学力の向上や異文化コミュニケーションのスキルを重視し、グローバルな視野を持った人材の育成を支援しています。

モノのインターネット（IoT）教育推進室

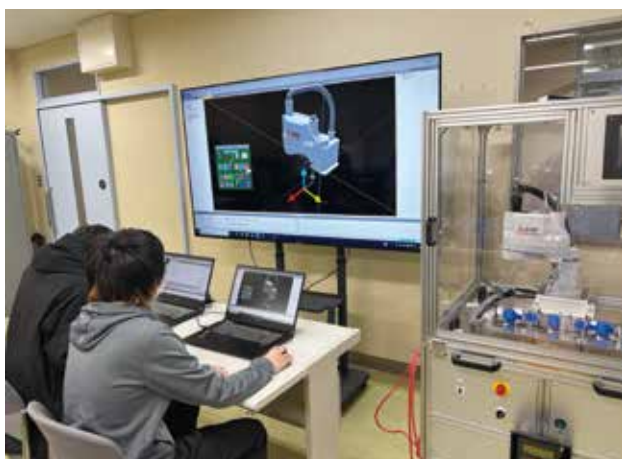
日常的に使用される物理的な「モノ」にインターネットを通じて互いに通信する機能を持たせ、データの収集・共有・制御を行えるようにした技術やシステム（IoT：Internet of Things）に関連する技術の進展を支える人財の養成を目指し、教育方法や教育内容の改善を行います。

半導体教育推進室

社会の持続的な成長実現を可能とする先端性の高い半導体の開発、安定して半導体を供給する製造等に資する人財の養成を目指し、教育方法や教育内容の改善を行います。

デジタルものづくり人財育成事業推進室

ものづくり IT 化の進展、並びに製品開発のための設計・製造技術のデジタル化及びコンピュータの活用により産業の発展に資する人財の養成を目指し、教育方法や教育内容の改善を行います。



学生のデジタルツイン授業の様子(デジタルものづくり人財育成事業推進室)



授業風景(グローバル教育推進室)

研究・産学連携推進センター

研究・産学連携推進センターは、令和7年4月に研究戦略企画センターが本校の産学連携を所管する組織を内外に明確に示し、産学連携活動をより一層進めることを目指して改組され設置された組織です。当センターは本校の研究、産学連携活動等の拠点として、研究水準の維持及び向上並びに高度技術の集積促進を図り、研究、産学連携活動及び地域貢献活動を推進することを目的とし、学内の研究を統括する研究推進室と、地域と連携するための地域連携推進室及びものづくりとまなびの共創推進室で構成されています。

研究推進室は、研究の更なる活性化のため、複数の教員がグループを組む、効率よく研究に従事し成果が出せるような研究体制の構築を推進しています。

地域連携推進室は、地域との連携を強化し、地方創生に貢献できるような取り組みを行っています。主な活動として、仙台高専産学連携振興会（企業協力会）を中心に直接本校の学生（専攻科生）を指導いただく課題解決型インターンシップ、東北・北海道地区高等専門学校専攻科産学連携シンポジウム及び地域企業理解推進事業があります。

ものづくりとまなびの共創推進室は、令和2年度に設置され、地域生産現場発イノベーション共創を基軸とした「はたらく」と「まなぶ」のミルフィーユ型社会の実現に向け取り組んでいます。

以上の体制の下、学生、教職員が一丸となり、これらの活動を広げ、地域の発展に貢献できる組織として機能できるよう取り組んでいます。



研究・産学連携推進センター(広瀬キャンパス)



研究・産学連携推進センター(名取キャンパス)

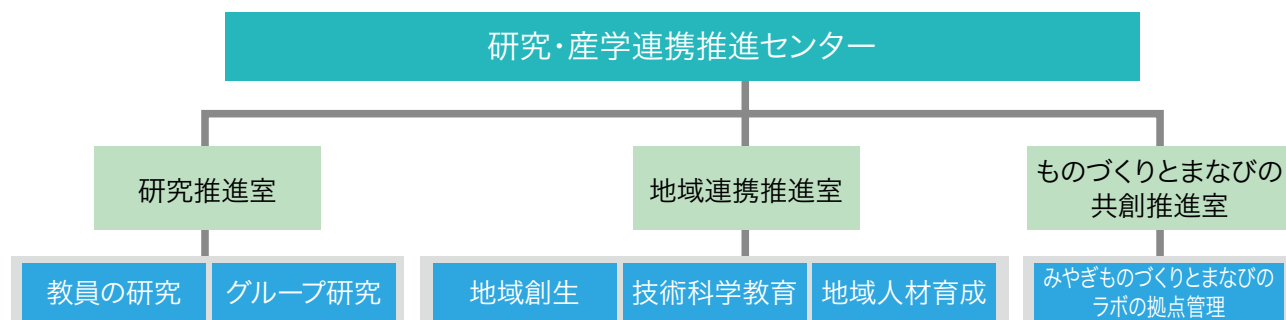


課題解決型インターンシップ



課題解決型インターンシップ

研究・産学連携推進センターと地域連携





産学連携振興会総会



東北企業フェスタ



地域企業理解推進事業『企業勉強会』振興会企業による説明会



地域企業理解推進事業『企業勉強会』振興会企業への訪問

産学連携振興会会員企業一覧

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■株式会社アースクリーン東北 ■株式会社アーステクニカ ■株式会社IJプロテック ■株式会社アイ・エス・ビー ■株式会社アイオーティドットラン ■アイシン高丘東北株式会社 ■アイリスオーヤマ株式会社 ■株式会社アクトジャパン ■株式会社朝日工業社 東北支店 ■株式会社アジェンダST ■AZUL Energy株式会社 ■アステック株式会社 ■株式会社アステム ■アズビル株式会社 ■有限会社熱海防水 ■株式会社アトマックス ■株式会社アフレル ■アルプスアルパイン株式会社 ■株式会社アルプス技研 ■イーエヌ大塚製薬株式会社 ■株式会社イーエムエス ■イデア・インターナショナル株式会社 ■出光エンジニアリング株式会社 ■伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 仙台営業所 ■岩機ダイカスト工業株式会社 ■株式会社若沼精工 ■株式会社ヴィ・クルー ■エクシオグループ株式会社 ■株式会社SRA東北 ■株式会社SJC ■SWCC株式会社 仙台事業所 ■株式会社エヌエスシー ■株式会社NTKセラテック ■株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー ■エリクソン・ジャパン株式会社 ■有限会社大友製作所 ■お茶の井ヶ田株式会社 ■オリエンタルモーター株式会社 相馬カンパニー ■有限会社カツコテクノロ ■株式会社カネカ ■株式会社亀山鉄工所 ■株式会社環境技術ソリューション ■株式会社カネセツ ■北日本電線株式会社 ■京セラコミュニケーションシステム株式会社 ■京セラドキュメントソリューションズ株式会社 ■協立ソリューションズ株式会社 ■キューユー株式会社 ■金属検査株式会社 ■クオリティソフト株式会社 | <ul style="list-style-type: none"> ■株式会社樹引工業 ■工藤電機株式会社 ■株式会社クレハ いわき事業所 ■ケミコン東日本株式会社 ■建装工業株式会社 ■株式会社興盛工業所 ■株式会社コー・ワークス ■COM電子開発株式会社 ■株式会社五洋電子 仙台工場 ■株式会社サイバー・ソリューションズ ■一般財団法人材料科学技術振興財団 ■株式会社鷺宮製作所 ■佐藤工業株式会社 ■株式会社三幸 ■産電工業株式会社 ■三和エレクトロニクス株式会社 ■株式会社C&A ■株式会社ジー・イー・エス ■ジー・オー・ビー株式会社 ■J-POWER テレコミュニケーションサービス株式会社 ■株式会社システムリンクエージ ■ジョンソンコントロールズ株式会社 東北支店 ■新東北化学工業株式会社 ■株式会社スクリブル・デザイン ■住友不動産株式会社 ■セツカートン株式会社 ■千代クレーンメンテナンス株式会社 ■仙台国際空港株式会社 ■仙台北林製薬株式会社 ■仙台商会議所 ■株式会社仙台ニコソ ■株式会社仙台放送 ■セントラルソフト株式会社 ■NPO法人仙南広域工業会 ■創造技研株式会社 ■ソニーストレージメディア株式会社 ■株式会社ソルクシース ■太白行政事務所 ■大和電設工業株式会社 ■株式会社高山 ■株式会社竹中工務店 東北支店 ■通研電気工業株式会社 ■株式会社ティー・エス・シー ■一般社団法人DX NEXT TOHOKU ■株式会社TTK ■TDCソフト株式会社 ■テクセリアルズ株式会社 多賀城事業所 ■テクセリアルズフォトリュレーションズ株式会社 ■テクノ・マインド株式会社 ■株式会社デザインネットワーク 仙台テクニカルセンター | <ul style="list-style-type: none"> ■電源開発株式会社 東日本支店 東北情報通信所 ■株式会社デンソーFA山形 ■株式会社デンロコーポレーション 東北工場 ■株式会社トインクス ■東亜石油株式会社 ■株式会社東栄科学産業 ■東京エレクトロン宮城株式会社 ■東京ガスネットワーク株式会社 ■東京水道株式会社 ■東新工業株式会社 ■東社シーテック株式会社 ■東北大江工業株式会社 ■東北計器工業株式会社 ■東北三和鋼路株式会社 ■東北セラミック株式会社 ■東北電子工業株式会社 ■東北電力株式会社 宮城支店 ■東北特殊鋼株式会社 ■東北パイプターン工業株式会社 ■東北プレス工業株式会社 ■東北マイクロテック株式会社 ■東北緑化環境保全株式会社 ■東洋刃物株式会社 ■トーカドエナジー株式会社 製造統括部 ■株式会社トーキン ■土木地質株式会社 ■トヨタ自動車東日本株式会社 ■株式会社西島製作所 ■株式会社トレック ■一般社団法人名取市観光物産協会 ■株式会社ナナイロ ■ニチレグループ株式会社 ■日進工具株式会社 ■日東電工株式会社 ■日東紡績株式会社 ■株式会社ニノテック ■日本クロージャー株式会社 ■日本ピストンリング株式会社 ■日本ファインセラミックス株式会社 ■株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北 ■株式会社ねこまた ■バイオニアシステムテクノロジー株式会社 ■バイスリープロジェクト株式会社 ■株式会社ハイテックシステム ■有限会社橋本工務店 ■株式会社ハッピージャパン ■パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社 ■浜松ホトニクス株式会社 仙台営業所 ■株式会社原田伸銅所 ■株式会社ビーエーシー 仙台支所 | <ul style="list-style-type: none"> ■株式会社ビオシス ■東日本コンクリート株式会社 ■引地精工株式会社 ■株式会社BizFreak ■日立Asterno株式会社 ■株式会社ビッツ ■ヒロセ電機株式会社 ■株式会社FITS ■株式会社フォトニクラティス ■株式会社深松組 ■福島キヤノン株式会社 ■プラスエンジニアリング株式会社 ■古川電気工業株式会社 ■古河電池株式会社 ■ヘキサコア株式会社 ■べんてる株式会社 技術研究所 ■ボーテキ株式会社 ■株式会社真壁技研 ■株式会社牧野技術サービス ■マクスェルフロンティア株式会社 宮城事業所 ■株式会社松下産業 ■株式会社馬淵工業所 ■株式会社丸本組 ■一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 ■一般社団法人みやぎ工業会 ■株式会社宮城二コンプレクション ■株式会社ミヤツウ ■株式会社ミュージナル ■株式会社ミライト・ワン ■株式会社メニコ ■メルコジャパン株式会社 ■株式会社メンバーズ ■モービルジャパン株式会社 ■守屋木材株式会社 ■山勝電子工業株式会社 ■ヤマセ電気株式会社 ■株式会社やまや ■株式会社U-NEXT HOLDINGS ■株式会社ユーメディア ■ライフラボラトリ株式会社 ■リコーインダストリー株式会社 ■凌和電子株式会社 ■ルネサス エレクトロニクス株式会社 ■レンゴー株式会社 ■株式会社YCC情報システム ■ほか3社 |
|--|--|--|--|

法人会員: 計198社
(令和7年5月1日現在)

リベラルアーツ教育推進室

人文社会、一般数理からなる、人生を豊かにし、自分らしく生きるためのリベラルアーツ教育に関する教育システムを運営するとともに、社会人基礎力の獲得と科目間連携、STEAM教育の推進による高専ならではの学術的リベラルアーツ教育の充実と質の向上を推進します。



新入生の仲間づくり活動(リベラルアーツ教育推進室)

キャリア教育推進室

学生のキャリア形成に対する意識向上を促進するために、キャリアデザイン、企業等研究、進路支援に関するイベントを実施し、低学年からの系統的なキャリア教育を推進します。



進路支援講座:エントリーシート作成(キャリア教育推進室)

スタートアップ推進室

本校では、学生の創造力と実行力を育むため、スタートアップ推進室を設置し、アントレプレナーシップ教育・スタートアップ教育を推進しています。校内には、学生の自由な発想を形にする拠点「アントレの巣」を整備し、モノづくり・コトづくりを通じて、実践的な学びと地域・企業との共創を支援しています。



デジタルものづくりスペース(スタートアップ推進室)



「アントレの巣」外観(スタートアップ推進室)



AI・データサイエンススペース(スタートアップ推進室)

図書館

令和7年5月1日現在

図書館は学習と情報提供の中心的役割を果たしています。工学系専門書や、小説・実用書・各種雑誌が並び、学生によく利用されています。図書館の蔵書はWeb上で検索することができ、本校にない資料についても学外から取り寄せることができます。



蔵書検索サイト

広瀬キャンパス図書館 蔵書数

区分	種別	図書冊数			
		和漢書(冊)	洋書(冊)	総計(冊)	分類別比率(%)
	総記	8,307	234	8,541	11.8
	哲学	2,598	65	2,663	3.7
	歴史	4,701	87	4,788	6.6
	社会科学	5,732	72	5,804	8.0
	自然科学	12,441	728	13,169	18.2
	工学	11,799	581	12,380	17.1
	産業	1,192	18	1,210	1.7
	芸術	3,104	60	3,164	4.4
	言語	2,526	298	2,824	3.9
	文学	12,856	460	13,316	18.4
	その他	483	3,961	4,444	6.1
	計	65,739	6,564	72,303	100.0

令和6年度利用状況

学生		1日平均
貸出者数	1,526人	6.4人
貸出冊数	2,717冊	11.4冊

教職員		1日平均
貸出者数	98人	0.4人
貸出冊数	176冊	0.7冊

入館者数	総学生数	開館日数
31,230人 (1日平均130.7人)	658人 (年間1人2.3回、4.1冊)	239日 (月平均19.9日)

名取キャンパス図書館 蔵書数

区分	種別	図書冊数			
		和漢書(冊)	洋書(冊)	総計(冊)	分類別比率(%)
	総記	2,895	277	3,172	3.7
	哲学	3,594	383	3,977	4.6
	歴史	5,034	187	5,221	6.1
	社会科学	8,156	330	8,486	9.9
	自然科学	12,763	1,462	14,225	16.6
	工学	17,800	1,096	18,896	22.0
	産業	1,040	10	1,050	1.2
	芸術	4,967	178	5,145	6.0
	言語	3,356	1,759	5,115	6.0
	文学	11,645	938	12,583	14.7
	その他	7,881	7	7,888	9.2
	計	79,131	6,627	85,758	100.0

令和6年度利用状況

学生		1日平均
貸出者数	2,048人	8.6人
貸出冊数	4,216冊	17.8冊

教職員		1日平均
貸出者数	196人	0.8人
貸出冊数	355冊	1.5冊

入館者数	総学生数	開館日数
28,438人 (1日平均120.0人)	923人 (年間1人2.2回、4.6冊)	237日 (月平均19.8日)



グループ学習エリア(名取キャンパス)



図書・雑誌コーナー(名取キャンパス)



図書館 閲覧室(広瀬キャンパス)

情報基盤センター

広瀬キャンパス

情報基盤センターは、キャンパス内のキャンパスネットワーク及び教育用コンピュータシステムの運用管理、学内の情報基盤に関する技術支援を主な業務としています。

広瀬キャンパス内には1,000台を超えるコンピュータが設置されており、それがキャンパスネットワークに接続されています。キャンパスネットワークやインターネットを快適かつ安全・安心して利用できるようにするため、統合認証システム、Web プロキシ、コンテンツフィルタ、アンチウィルス、ファイアウォールなどの装置類を配備しています。

また、Microsoft 365 や Google Workspace など、クラウドサービスを利用した SaaS の運用・管理をしています。

教育用コンピュータシステムはキャンパス内4か所に分散設置されており、それぞれ50人程度のユーザが同時に利用できる環境となっています。いずれもパソコンをベースとしたシステムですが、3セットは Windows と Linux を選択起動できるシステム、1セットは Raspberry Pi を利用した Linux 専用実習環境となっています。

名取キャンパス

技術者には情報機器を駆使して問題を解決する能力が要求されています。情報基盤センターには最新の高速サーバと情報端末パソコンが整備され、高度情報化社会に対応する情報技術教育、研究に応えられる施設として設置されました。

情報技術教育用として演習システムが整備されており、授業以外でも自習室や図書館からキャンパス情報ネットワーク経由で利用することができるようになっています。情報端末パソコンは使用目的に応じてLinuxとWindowsから選んで利用することができます。ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション、ペイント、ドローの各ソフトも最新のものがインストールしてあり、情報処理の授業等でこれらの機器・ソフトウェアを利用し、情報交換や情報処理等のコンピュータ技能を高めることができます。また、FortranやC++のプログラム開発環境も導入されており、準学士課程や専攻科課程の研究にも利用されています。

キャンパス情報ネットワークは情報基盤センターを中枢としてキャンパス内全域をギガビットイーサネットで結び、東北学術研究インターネットコミュニティ経由でインターネットに接続されています。学生、教職員は各自メールアドレスを持ち、電子メールやWorld Wide Webなどを利用してレポート作成や国内外との情報交換、情報発信、業務連絡に利用しています。情報基盤センターには各種サーバ、ネットワーク機器、管理装置が設置されており、学術情報及び世界の情報資源へのアクセスを提供しています。



教育用演習システム端末室（名取キャンパス）



教育用コンピュータシステムを格納するラック（広瀬キャンパス）

創造教育センター

広瀬キャンパス

創造教育棟

創造教育棟は自主性を伸ばし、創造性豊かな人材を育成する新しい教育システムを推進するために平成15年度に設置されました。本棟では、

(1) 学生の自主性を伸ばす「ものづくり」教育の充実

①「発想→調査→設計→製作→評価」の一連の流れの体験

②3次元の広い空間を利用した夢のある研究テーマの具体化

(2) 組み込みシステム教育の充実

(3) 情報通信技術(ICT)を活用した教育(語学演習、遠隔授業など)の強化等を推進しております。

1階は創造教育工房(広くて天井の高い創造空間で、ロボットをはじめ、電気自動車、飛行物体など、大型の創造物の製作等を行う)、語学情報演習室(コンピュータを活用した外国語演習、3D-CADによる設計・製図等を行う)、創造プロジェクト室(プログラミングコンテストなどの特定のプロジェクトを遂行したり、グループワークによるコンピュータ実習と工作作業等を行う)及び管理室があります。

2階はコンピュータ演習室(マイクロコンピュータ及び組み込みシステムの授業、e-ラーニングによる自学自習等を行う)、及びロボカップサッカーやETロボコンの活動場所があります。

3階はICTメディア室(遠隔会議システムを利用した遠隔授業、講演の遠隔配信等を行う)があります。

また、各階には明るく開放的なリフレッシュスペースがあり、学生の新鮮な創造力の発展に役立っています。



創造教育棟

実験実習試作室

実験実習試作室は、あらゆるものがマイコンで制御されるIoT機器の時代の到来を予見し、メカトロニクス分野の教育充実のために、およそ30年前に設置されました。

当施設は、加工技術の訓練実習のためではなく、学生や教員が作りたいものを、自ら作るための施設で、本校の歴史あるPBL教育やAL教育に活用されてきました。

独創的な教育・研究は、教材や実験装置を独自に製作することに始まるといえます。実験実習試作室には、一般工作機械はもとより、最新の3D CAD/CAM、高精度NC工作機械、さらには、レーザー加工機など最先端の加工設備を備え、ロボコンなどの学生の創造的な試作活動や、精密加工を必要とする教材や研究装置の試作・開発に利用されています。



創造教育センター(広瀬)

主な設備は以下のとおりです。

- ・旋盤、手動NC旋盤、フライス盤、手動NCフライス盤、マシニングセンタ、レーザー彫刻機、2.5kW炭酸ガスレーザー加工機、スケヤシャー

電子デバイス試作室

電子デバイス試作室は電子デバイスを実際に作製し、その特性評価を行うことを目的としています。新しい電子材料の合成、電子デバイスを試作するプロセス技術の実習及びそれらの評価に必要な環境と装置類が準備されており、電子デバイス試作の基本技術に関する実験を行うことができます。

主な施設、設備は以下のとおりです。

- ・クリーンルーム 面積94.00㎡ (8号棟)
- ・クリーンベンチ、ドラフトチャンバー、スピコート、純水製造装置、ワイヤボンダ、ダイボンダ、赤外線ランプ加熱炉、走査型電子顕微鏡、走査型プローブ顕微鏡、真空蒸着装置、RFスパッタリング装置、X線回折装置、フォトルミネッセンス装置、Hall効果測定装置



ワイヤ / ダイボンダ及び走査型プローブ顕微鏡

名取キャンパス

創造教育センター

名取キャンパス創造教育センターは、ものづくりの一連の工程を実施できる施設です。設計から製品に至る加工プロセスを体験できる設備が整備されており、ものづくり実習等の授業を通してものづくりの基礎を体感しながら身に付けることができます。施設内は代表的な加工プロセスごとに区分けしており、社会で実際に利用されている金属をはじめとする多様な材質を加工するための工作機械を設置しています。また、施設に付属する自学自習室には、3D-CAD による設計・製図からレーザーカッティング、3D プリンティングによる樹脂部品の製作を行うための設備を備えています。授業時間だけでなく様々な活動で利用できる施設となっており、自分の手で工作機械を操作し自らのアイデアを具体化する、学生の自由な発想によるものづくりの実現を支える施設となっています。

施設と設備

機械仕上工房

精密旋盤
立てフライス盤
ラム型立てフライス盤
横フライス盤
平面研削盤
万能円筒研削盤
小型ホブ盤
高速帯鋸盤
キー溝加工機
卓上ボール盤
直立ボール盤
ラジアルボール盤
両頭グライнда

NC加工室

高精度マシニングセンタ
マシニングセンタ
NC旋盤
CAMソフト

鍛造工房

ガス焼き回転加熱炉
エアハンマ
両頭グライнда
ベルトグライнда

板金工房

コンターマシン
スケヤシャー
高速砥石切断機
折り曲げ機
三本ロール曲げ機

溶接工房

アーク溶接機
ガス溶接器
TIG溶接機
CO₂アーク溶接機
スポット溶接機
エアプラズマ切断機

鑄造工房

高周波誘導溶解炉
定温乾燥機

木型工房

パネルソー
木工帯鋸盤
万能木工機
糸鋸盤
角のみ盤
卓上ボール盤



機械仕上工房



鍛造工房



実習(旋盤作業)



実習(フライス盤作業)

学生相談室

学生相談室は、学生の悩みを共に考え、問題解決のお手伝いをするために設置されているものです。学生相談室のスタッフは、常勤のカウンセラーの他に定期的に来校するソーシャルワーカー（福祉の専門家）と、いつでも相談できる校内相談員です。なお、学生だけでなく、保護者からの学生に関する相談にも応じる体制を取っています。

広瀬キャンパス

相談員	相談時間
カウンセラー	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
ソーシャルワーカー	水・金曜日 午後1時～午後5時
校内相談員(4名)	随時

名取キャンパス

相談員	相談時間
カウンセラー	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
ソーシャルワーカー	水曜日 午前9時～午後5時
校内相談員(9名)	随時



学生相談室サイト



DV・ハラスメント防止講演会



学生相談室（広瀬キャンパス）

SSR（スタディ・サポート・ルーム）

教育コーディネーターが常駐しています。数学・物理や専門科目を中心に、放課後に学習の個別指導が受けられます。勉学で悩むことがあったら利用してください。



入口



学習風景

広瀬キャンパス

相談員	開室時間
コーディネーター	月曜日～金曜日 午後2時～午後6時

名取キャンパス

相談員	開室時間
※名取キャンパスは2025年度より運用開始	

特別支援室

特別支援室は、何らかの障害があること等を理由に修学・生活上の配慮が必要な学生に対して、教職員による支援グループを結成して、学生の状態に応じて適切な支援を行うことを目指しています。

学生寮

(単位：人)

松韻寮(広瀬キャンパス)

広瀬キャンパス松韻寮の定員は186人(男子136人、女子50人)で、北寮、東寮及び南寮の3つの建物が食堂を中心に配置されています。南寮には留学生、海外からの研修生、専攻科生が入居しています。

また、3棟は学校と隣接しているので、研究や実験、クラブ活動に打ち込む寮生が多くなっています。

寮生数

	総合工学科Ⅰ類	情報システムコース	情報通信コース	知能エレクトロニクスコース	情報電子システム工学専攻	合計
第1学年	27 (8)				6 (1) [2]	33 (9) [2]
第2学年		6	10 (1)	9 (1)	3 (1) [2]	28 (3) [2]
第3学年		9 (3)	6	10 (3) [1]		25 (6) [1]
第4学年		6 (2) [1]	4 (2)	5 (4) [2]		15 (8) [3]
第5学年		3 [1]	3 (1) [1]	4 (1) [1]		10 (2) [3]
合計	27 (8)	24 (5) [2]	23 (4) [1]	28 (9) [4]	9 (2) [4]	111 (28) [11]

() 女子で内数、[] 留学生で内数

学寮の行事

4月	入寮式・新入寮生歓迎会
5月	避難訓練
9月	秋祭り
11月	避難訓練
12月	冬祭り
1月	卒業式・卒業生昼食会



松韻寮(広瀬キャンパス)



秋祭り

萩花寮(名取キャンパス)

名取キャンパス萩花寮の定員は189人(男子156人、女子33人)で南寮、北寮、東寮、西寮及び南西寮の5棟があり、居室には学習机、椅子、棚及びベッド等が備え付けられ、2人部屋と1人部屋があります。

また、各棟には共同使用の談話室、補食室、シャワー室等もあり、別棟には学習室、パソコン室、食堂、浴室等が完備されています。

寮生数

	総合工学科Ⅱ類	総合工学科Ⅲ類	ロボティクスコース	マテリアル環境コース	機械・エネルギーコース	建築デザインコース	生産システムデザイン工学専攻	合計
第1学年	22 (5)	11 (6)						33 (11)
第2学年			10 (2)	7 (3)	7 (1)	7 (1)		31 (7)
第3学年			9 (1) [3]	4 (1) [1]	7 (1)	6 (1)		26 (4) [4]
第4学年			7 (1)	4	7 (1) [1]	6 (3)		24 (5) [1]
第5学年			3	4 [2]	4 (1)	6 (1)		17 (2) [2]
専攻科第1学年								
専攻科第2学年							1	1
合計	22 (5)	11 (6)	29 (4) [3]	19 (4) [3]	25 (4) [1]	25 (6)	1	132 (29) [7]

() 女子で内数、[] 留学生で内数

学寮の行事(変更となる場合あり)

4月	入寮式
5月	避難訓練
7月	寮祭
10月	野外食、スポーツ大会
12月	クリスマス会
2月	卒業生テーブルマナー講習会、予餞会



萩花寮(名取キャンパス)



寮祭り

学生の定員及び現員

令和7年5月1日現在

(単位：人)

準学士課程

学科・コース		入学 定員	現 員					計
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	
総合工学科	I 類	120	122 (18)					122 (18)
	II 類	120	121 (21)					121 (21)
	III 類	40	41 (18)					41 (18)
	情報システムコース			43 (5)	45 (9)	46 (7) [1]	41 (4) [1]	175 (25) [2]
	情報通信コース			46 (7)	48 (2)	34 (9)	38 (9) [1]	166 (27) [1]
	知能エレクトロニクスコース			37 (10)	38 (9) [1]	29 (7) [1] <1>	26 (3) [1]	130 (29) [3] <1>
	ロボティクスコース			45 (11)	37 (6) [3]	42 (6)	39 (1)	163 (24) [3]
	マテリアル環境コース			43 (20)	47 (9) [1]	39 (7) [1]	35 (8) [2]	164 (44) [4]
	機械・エネルギーコース			42 (5)	42 (5)	45 (5) [1]	39 (5)	168 (20) [1]
	建築デザインコース			42 (14)	43 (20)	40 (15)	45 (20)	170 (69)
	応用科学コース					2	6 (2)	8 (2)
機械システム工学科						1		1
計		280	284 (57)	298 (72)	300 (60) [5]	278 (56) [4] <1>	269 (52) [5]	1,429 (297) [14] <1>

()は女子学生、[]は男子留学生、< >は女子留学生でいずれも内数である。

専攻科

学科	入学 定員	現 員		計
		第1学年	第2学年	
情報電子システム工学専攻	30	20 (2) [2]	32 (2) [1] <1>	52 (4) [3] <1>
生産システムデザイン学専攻	40	37 (6)	41 (4)	78 (10)
計	70	57 (8) [2]	73 (6) [1] <1>	130 (14) [3] <1>

()は女子学生、[]は男子留学生、< >は女子留学生でいずれも内数である。

奨学生数(令和6年度実績)

(単位：人)

準学士課程

	現 員					計
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	
学生数	296	303	278	276	279	1,432
日本学生支援機構	2	3	2	47	54	108
その他の奨学会	9	4	12	9	15	49
学生数に対する比率(%)	3.72	2.31	5.04	20.29	24.73	10.96

専攻科

	現 員		計
	第1学年	第2学年	
学生数	71	77	148
日本学生支援機構	9	18	27
その他の奨学会	3		3
学生数に対する比率(%)	16.90	23.38	20.27

出身地別在学者数

令和7年5月1日現在

(単位：人)

区分	本科					専攻科		計
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年	
宮城県								
仙台市	130 (24)	137 (39)	147 (32)	135 (23)	126 (22)	24 (4)	37 (5)	736 (149)
名取市	22 (1)	21 (5)	19 (2)	27 (10)	20 (4)	4	7	120 (22)
岩沼市	9 (1)	5 (1)	10 (2)	4 (1)	8 (1)	3 (1)	2	41 (7)
塩竈市	3 (2)	1 (1)	7 (2)	5	8 (2)		3	27 (7)
多賀城市	14 (5)	9 (2)	6	9 (2)	11 (2)	5 (1)		54 (12)
白石市	5 (1)	1 (1)	3 (1)	2 (1)	1		1	13 (4)
石巻市	6 (1)	6 (3)	4 (2)	4	4		1	25 (6)
気仙沼市			1	2			1	4
角田市	3	2	4	2	2	1		14
登米市	1	3 (1)	2 (1)	1			1	8 (2)
栗原市	1 (1)	1	1					3 (1)
東松島市	1	3 (1)	2	5	5 (1)			16 (2)
大崎市	5 (3)	2	4 (1)	2	7 (1)	1		21 (5)
富谷市	15	10	5 (1)	5	8 (1)	1	1	45 (2)
宮城郡	7	11 (3)	8 (1)	11 (2)	10 (4)		1	48 (10)
亘理郡	7 (1)	5 (1)	9 (3)	8 (1)	6 (2)	1		36 (8)
柴田郡	12 (5)	14 (2)	8 (2)	7 (1)	18 (2)	3 (1)	4	66 (13)
刈田郡		3 (1)	1	3 (1)	1 (1)			8 (3)
伊具郡	3		2 (1)	1	2			8 (1)
黒川郡	2	4	4 (1)	2 (1)	3		1	16 (2)
加美郡			1	1	1 (1)			3 (1)
遠田郡	1		1		2 (2)			4 (2)
本吉郡			1					1
県内計	247 (45)	238 (61)	250 (52)	236 (43)	243 (46)	43 (7)	60 (5)	1,317 (259)
県外								
北海道	1 (1)							1 (1)
青森県	1 (1)	1	1	1 (1)				4 (2)
岩手県	5 (2)	4 (1)	3	3 (1)	1	2	1	19 (4)
秋田県		2	1					3
山形県	13 (4)	26 (3)	17 (2)	13 (5)	9 (3)	4 (1)	4	86 (18)
福島県	10 (2)	19 (5)	15 (5)	16 (4)	9 (3)	5	6	80 (19)
茨城県	1	1 (1)	2 (1)					4 (2)
栃木県	1 (1)		1		1			3 (1)
埼玉県	1		1					2
千葉県				1				1
東京都	1	4		2 (1)				7 (1)
神奈川県	1 (1)							1 (1)
長野県			1					1
愛知県						1		1
三重県		1 (1)						1 (1)
兵庫県			1					1
高知県	1							1
福岡県				1				1
長崎県	1							1
アメリカ		1						1
中国		1	2					3
台湾					1			1
県外計	37 (12)	60 (11)	45 (8)	37 (12)	21 (6)	12 (1)	11	223 (50)
合計	284 (57)	298 (72)	295 (60)	273 (55)	264 (52)	55 (8)	71 (5)	1,540 (309)
県内%	87.0	79.9	84.7	86.4	92.0	78.2	84.5	85.5
県外%	13.0	20.1	15.3	13.6	8.0	21.8	15.5	14.5
留学生								
インドネシア			1		1			2
タイ			3	3 (1)	3	2	1 (1)	12 (2)
マレーシア			1					1
モンゴル					1		1	2
ブラジル				1				1
ラオス				1				1
小計	0	0	5	5 (1)	5	2	2 (1)	19 (2)
総計	284 (57)	298 (72)	300 (60)	278 (56)	269 (52)	57 (8)	73 (6)	1,559 (311)

() 女子学生で内数である。

入学者選抜実施結果

(単位：人)

本科入学者選抜

	合計	総合工学科 Ⅰ類	総合工学科 Ⅱ類	総合工学科 Ⅲ類
令和4年度				
募集人員(a)	280	120	120	40
志願者数(b)	363	147	159	57
受験者数	362	146	159	57
合格者数	287	121	123	43
入学者数	285	121	121	43
倍率(b/a)	1.3	1.2	1.3	1.4
令和5年度				
募集人員(a)	280	120	120	40
志願者数(b)	400	191	145	64
受験者数	398	190	144	64
合格者数	284	121	121	42
入学者数	284	121	121	42
倍率(b/a)	1.4	1.6	1.2	1.6
令和6年度				
募集人員(a)	280	120	120	40
志願者数(b)	399	185	166	48
受験者数	395	185	163	47
合格者数	291	124	126	41
入学者数	291	124	126	41
倍率(b/a)	1.4	1.5	1.4	1.2
令和7年度				
募集人員(a)	280	120	120	40
志願者数(b)	369	109	199	61
受験者数	364	109	195	60
合格者数	282	120	121	41
入学者数	281	120	120	41
倍率(b/a)	1.3	0.9	1.7	1.5

志願者数・受験者数は第1志望類により集計している。

専攻科入学者選抜

			募集人員	情報電子システム工学専攻						募集人員	生産システムデザイン工学専攻					
				志願者数			合格者数				志願者数			合格者数		
				男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計
令和4年度	推薦	15	22	3	25	14	1	15	20	24	9	33	23	8	31	
	学力	15	30	2	32	19	1	20	20	21	5	26	17	5	22	
	社会人	若干名							若干名							
	合計	52	5	57	33	2	35	合計	45	14	59	40	13	53		
令和5年度	推薦	15	22	4	26	13	2	15	20	20	4	24	19	4	23	
	学力	15	32	1	33	19		19	20	39	5	44	28	2	30	
	社会人	若干名							若干名							
	合計	54	5	59	32	2	34	合計	59	9	68	47	6	53		
令和6年度	推薦	15	21	1	22	14	1	15	20	27	6	33	20	4	24	
	学力	15	24	2	26	16	1	17	20	35	7	42	21	2	23	
	社会人	若干名							若干名							
	合計	45	3	48	30	2	32	合計	62	13	75	41	6	47		
令和7年度	推薦	15	15	2	17	13	2	15	20	24	5	29	22	5	27	
	学力	15	17	2	19	7	2	9	20	23	4	27	18	2	20	
	社会人	若干名							若干名							
	合計	32	4	36	20	4	24	合計	47	9	56	40	7	47		

編入学者選抜

	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
情報システムコース										1	1	1
情報通信コース				2	2							
知能エレクトロニクスコース	1	1	1	1						1	1	
ロボティクスコース	1	1	1							1	1	1
マテリアル環境コース												
機械・エネルギーコース	1			1	1	1	1	1	1	2	1	1
建築デザインコース	3	3	1	1	1	1	1	1	1			

令和6年度就職状況

(単位：人)

広瀬キャンパス

産業別就職状況

	本科		専攻科		本科・専攻科 合計	
■建設業	1				1	
■製造業						
食料品・飲料・たばこ・飼料						
繊維工業						
印刷・同関連工業						
化学工業・石油・石炭製品	1				1	
鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	1	(1)	1		2	(1)
はん用・生産用・業務用機械器具	10	(1)	5	(1)	15	(2)
電子部品・デバイス・電子回路			1		1	
電気・情報通信機械器具	4		3		7	
輸送用機械器具						
その他の製造業						
■電気・ガス・熱供給・水道	3	(1)	2		5	(1)
■情報通信業	36	(6)	11	(1)	47	(7)
■運輸業・郵便業	3	(1)			3	(1)
■卸売・小売業	1				1	
■金融・保険業						
■不動産業						
■学術研究・専門・技術サービス業						
■生活関連サービス業・娯楽業			1		1	
■教育・学習支援業						
■医療・福祉	1				1	
■複合サービス事業						
■サービス業	5	(1)	1		6	(1)
■公務						
国家公務						
地方公務						
■その他						
合計	66		(11)		91	

()は女子学生で内数である。

所在地別就職状況

	本科		専攻科		本科・専攻科 合計	
東北地区	9	(2)	5		14	(2)
関東地区	49	(8)	18	(1)	67	(9)
その他	8	(1)	2	(1)	10	(2)
合計	66		(11)		91	

()は女子学生で内数である。

就職先一覧

【本科】

株式会社アイ・エス・ビー
旭化成株式会社
アステック株式会社
アビームシステムズ株式会社
アマゾンジャパン合同会社
株式会社アルプス技研
インフォコムテクノロジー株式会社
エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社
NECネットエスアイ株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・エムイー
株式会社Mテック
エリクソン・ジャパン株式会社
株式会社河北新報社
京セラコミュニケーションシステム株式会社
KDDIエンジニアリング株式会社
コスモシステム株式会社
CTCシステムマネジメント株式会社
株式会社ステップ
セイコーエプソン株式会社
創造技研株式会社
ソニーグローバル・ソリューションズ株式会社
株式会社ソフテック 八戸事業所
ソフトバンク株式会社

ダイキン工業株式会社
株式会社田中貴金属グループ
株式会社TBSアクト
株式会社トインクス
東京エレクトロン株式会社
東京電力ホールディングス株式会社
株式会社ニコン
西日本旅客鉄道株式会社
日本精工株式会社
日本赤十字社 兵庫県支部
パソソルクロステクノロジー株式会社
パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社
パナソニック コネクト株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社日立ソリューションズ東日本
富士電機株式会社
株式会社ブリパテック
三菱電機エンジニアリング株式会社 名古屋事業所
株式会社明電舎
メタウォーター株式会社
株式会社U-NEXT HOLDINGS
ルネサス エレクトロニクス株式会社

【専攻科】

アイリスオーヤマ株式会社
アルプスアルパイン株式会社
株式会社EMD
NECソリューションイノベータ株式会社
NECネットエスアイ株式会社
NTTアノードエナジー株式会社
NTT東日本株式会社
株式会社オリエンタルランド
クオリカ株式会社
スターツ出版株式会社
セイコーエプソン株式会社

セコム株式会社
テックファームホールディングス株式会社
東京エレクトロン株式会社
東北電力株式会社
トヨタ自動車東日本株式会社
株式会社ねこまた
バイオニアシステムテクノロジー株式会社
パナソニック コネクト株式会社
株式会社フォトニックス
株式会社マナーフォワード
三菱電機エンジニアリング株式会社
株式会社LIXIL

求人及び就職状況

	本科		専攻科		本科・専攻科 合計	
卒業・修了者数	105	(16)	29	(2)	134	(18)
進学その他	39	(5)	4		43	(5)
就職者数	66	(11)	25	(2)	91	(13)
求人企業	586		548		1,134	
求人数	941		651		1,592	

()は女子学生で内数である。

名取キャンパス

産業別就職状況

	本科	専攻科	本科・専攻科 合計
■建設業	13 (7)	6 (2)	19 (9)
■製造業			
食料品・飲料・たばこ・飼料	1		1
繊維工業			
印刷・関連工業	1		1
化学工業・石油・石炭製品	8 (4)	3 (1)	11 (5)
鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	3 (1)	1	4 (1)
はん用・生産用・業務用機械器具	2	4	6
電子部品・デバイス・電子回路	4	5	9
電気・情報通信機械器具	9 (2)	1	10 (2)
輸送用機械器具	1	2	3
その他の製造業	4 (1)		4 (1)
■電気・ガス・熱供給・水道	5 (1)	3	8 (1)
■情報通信業	11	4	15
■運輸業・郵便業	4 (3)	1	5 (3)
■卸売・小売業	2		2
■金融・保険業			
■不動産業	3 (1)	1	4 (1)
■学術研究、専門・技術サービス業	3 (2)	3	6 (2)
■生活関連サービス業・娯楽業			
■教育、学習支援業			
■医療・福祉			
■複合サービス事業			
■サービス業	5 (1)	3 (1)	8 (2)
■公務			
国家公務	1		1
地方公務	3		3
■その他			
合計	83 (23)	37 (4)	120 (27)

()は女子学生で内数である。

所在地別就職状況

	本科	専攻科	本科・専攻科 合計
東北地区	8 (2)	6	14 (2)
関東地区	63 (15)	23 (3)	86 (18)
その他	12 (6)	8 (1)	20 (7)
合計	83 (23)	37 (4)	120 (27)

()は女子学生で内数である。

就職先一覧

【本 科】

旭化成株式会社
アマゾンジャパン合同会社
岩谷瓦斯株式会社
株式会社エイアンドティー
ANAベースメンテナンステクニクス株式会社
AGC株式会社 相模工場
SMC株式会社
NECフィールディング株式会社
NECプラントエンジニアリング株式会社
NTTアノードエナジー株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー
ENEOS株式会社 中央技術研究所
株式会社Mテック
エリクソン・ジャパン株式会社
大阪シーリング印刷株式会社
株式会社大林組
鹿島建設株式会社
株式会社河北新報社
関東化学株式会社
京セラコミュニケーションシステム株式会社
株式会社クレハ いわき事業所
国税庁
株式会社コスモテック
株式会社ザイマックス
佐藤工業株式会社
株式会社サミーネットワークス
山九株式会社
サントリー食品インターナショナル株式会社
CTCテクノロジーズ株式会社
ジー・オー・ビー株式会社
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社
株式会社ジャムコ
新菱冷熱工業株式会社
仙台市役所

株式会社仙台ニコン
第一三共株式会社
第一三共バイオテック株式会社
ダイキンエアテクノ株式会社
ダイキン工業株式会社
大成建設株式会社
大東建設株式会社
太平洋セメント株式会社
大和ハウスリアルティマネジメント株式会社
株式会社TTK
東亜石油株式会社
東海旅客鉄道株式会社
東急電鉄株式会社
東京エレクトロン宮城株式会社
東京ガス株式会社
東京都下水道サービス株式会社
東芝ディーエムエス株式会社
東し建設株式会社
株式会社トレッドワークス
株式会社ニコン
日揮株式会社
日進工具株式会社
日本空港テクノ株式会社
株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北
野村建設工業株式会社
株式会社HERP
浜松ホトニクス株式会社
東日本高速道路株式会社
弘前市役所
ファナック株式会社
富士通株式会社
プラスエンジニアリング株式会社
ホーチキ株式会社
北海道庁
丸井産業株式会社

丸善石油化学株式会社
三菱地所コミュニティ株式会社
三菱電機株式会社 名古屋製作所
株式会社明電エンジニアリング
株式会社U-NEXT HOLDINGS
株式会社LIXIL

【専攻科】

アクセンチュア株式会社
株式会社アルプス技研
株式会社イースペース設計
SMC株式会社
NECネットエスアイ株式会社
株式会社NHKテクノロジーズ
株式会社NTKセラテック
株式会社MBM
株式会社オムニ設計
亀山建設株式会社
北日本電線株式会社
京セラコミュニケーションシステム株式会社
キョーユー株式会社

株式会社シュヴァルベル
大和ハウス工業株式会社
株式会社丹靑社
中外製薬工業株式会社
株式会社ティスコ
東京エレクトロン株式会社
東京ガスネットワーク株式会社
東建コーポレーション株式会社
東北電力株式会社
戸田建設株式会社
トヨタ自動車東日本株式会社
日東電工株式会社
パナソニック オートモティブシステムズ株式会社
パナソニック コネクト株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社ヒラテ技研
株式会社明電舎
メタウォーター株式会社
株式会社U-NEXT HOLDINGS
株式会社U'plan

求人及び就職状況

	本科	専攻科	本科・専攻科合計
卒業・修了者数	154 (36)	46 (6)	200 (42)
進学その他	71 (13)	9 (2)	80 (15)
就職者数	83 (23)	37 (4)	120 (27)
求人企業	987	555	1,542
求人数	1,050	583	1,633

()は女子学生で内数である。

卒業生の進路状況

(単位：人)

大学編入学等状況【令和6年度】

大 学 等 名	人数
仙台高等専門学校専攻科	57 (8)
北海道大学	1 (1)
弘前大学	1
東北大学	7 (1)
山形大学	2 (1)
宇都宮大学	1
千葉大学	1
新潟大学	1
長岡技術科学大学	3
電気通信大学	1
東京科学大学	1
豊橋技術科学大学	13 (2)
京都工芸繊維大学	1
神戸大学	1 (1)
鹿児島大学	1
東京都立大学	1
尚絅学院大学	1
早稲田大学	3
東京都市大学	1
合 計	98 (14)

()は女子学生で内数である。

大学院進学状況【令和6年度】

大 学 院 名	人数
東北大学大学院	6 (2)
豊橋技術科学大学大学院	1
九州大学大学院	1
合 計	8 (2)

()は女子学生で内数である。



令和6年度 仙台高等専門学校卒業証書・修了証書授与式

学校行事

仙台高専では年間を通じおおそ次のような行事があります。

4月	入学式 実力試験(広瀬キャンパス第1学年) 学生健康診断
5月	春季スポーツ大会(広瀬キャンパス) 体育祭(名取キャンパス) 校外研修(名取キャンパス第2～3学年)
6月	前期中間試験 オープンキャンパス(広瀬キャンパス)
7月	東北地区高専体育大会 オープンキャンパス(名取キャンパス) 前期期末試験(広瀬キャンパス)
8月	前期期末試験(名取キャンパス) 夏季休業 全国高専体育大会
9月	秋季スポーツ大会(広瀬キャンパス) TOEIC-IP試験等 校外研修(広瀬キャンパス第2～3学年)

10月	ロボットコンテスト東北地区大会 全国高専プログラミングコンテスト 東北地区高専体育大会(ラグビー) 校外研修(名取キャンパス第1～3学年) 高専祭
11月	研修旅行(第4学年) 全国高専デザインコンペティション 全国高専ロボットコンテスト 後期中間試験 専攻科産学連携シンポジウム
12月	吹奏楽部定期演奏会(広瀬キャンパス) プラスバンドコンサート(名取キャンパス) TOEIC試験(広瀬キャンパス第1～2学年) 全国高専体育大会(サッカー) 冬季休業
1月	全国高専体育大会(ラグビー) 後期期末試験(第5学年) 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
2月	後期期末試験(第1～4学年) 卒業研究発表(第5学年)
3月	卒業式 学年末休業



入学式



体育祭



高専体育大会



オープンキャンパス



ロボットコンテスト



高専祭



第4学年研修旅行



卒業研究発表

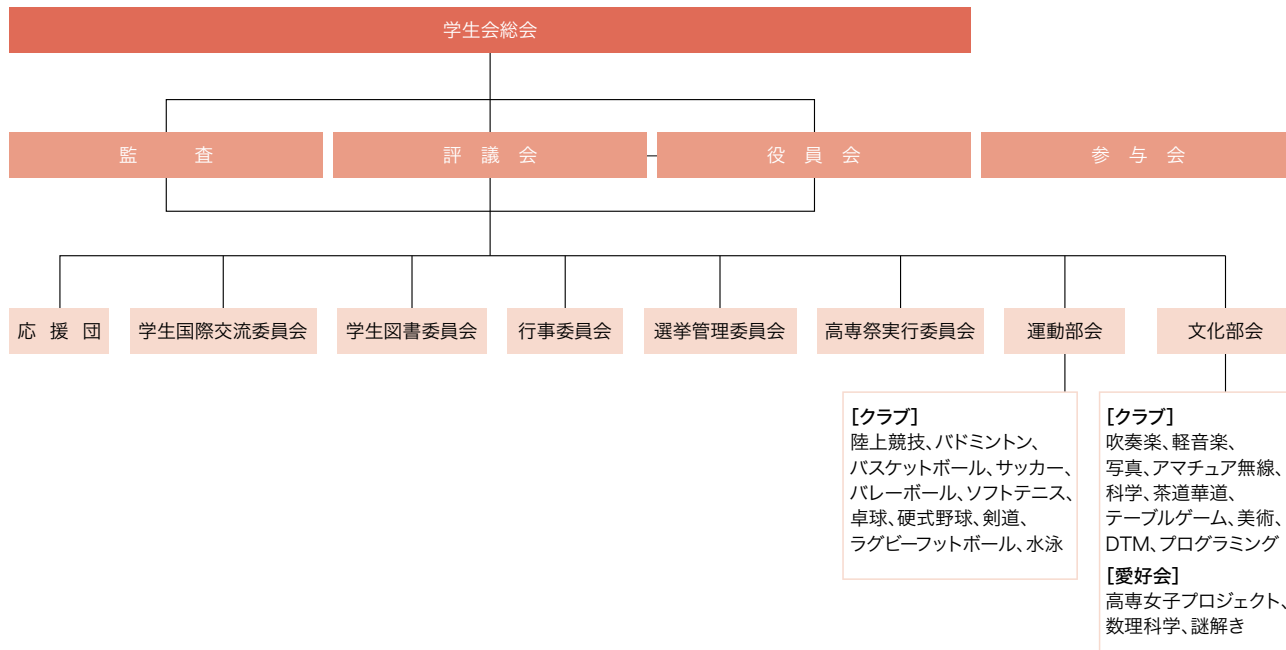


卒業式

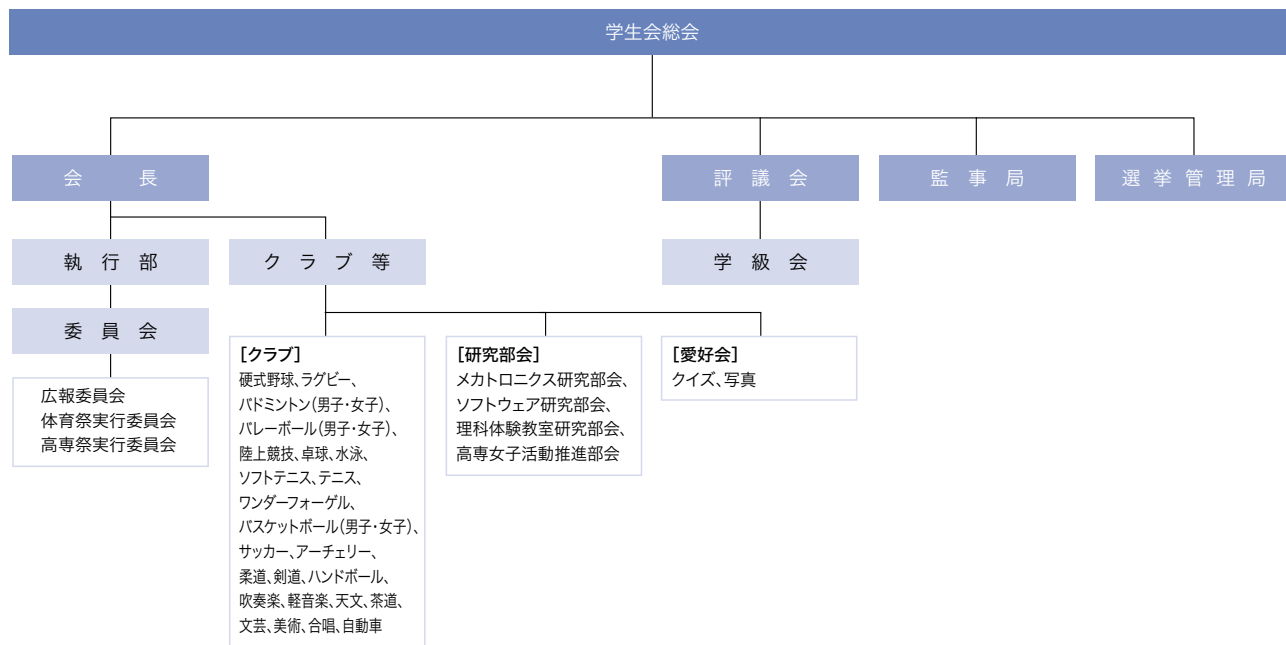
課外活動

学生会は学生全員で構成される組織で、執行部、評議会、技術研究部会、文化部会、運動部会、応援団などの組織からなります。クラブ活動のほかに、スポーツ大会、高専祭、他高専との親善交流など、多彩な行事を行っています。

広瀬キャンパス



名取キャンパス





科学部



ラグビー部



プログラミング部



硬式野球部



剣道部



バスケットボール部



バドミントン部



合唱部



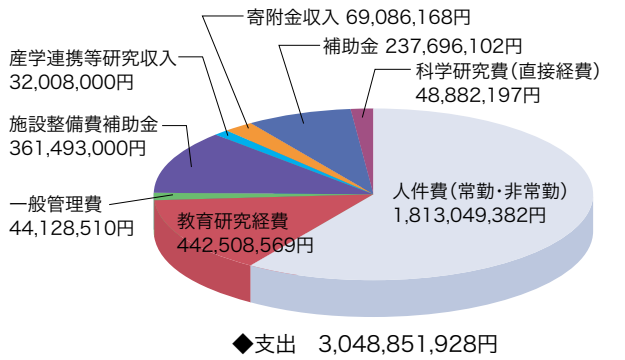
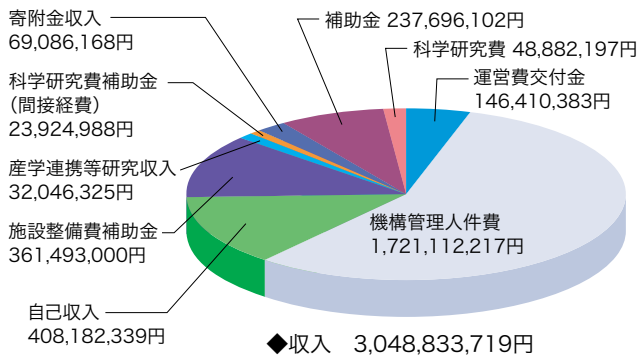
茶道華道部



天文部

収入・支出

令和6年度収入・支出額(広瀬キャンパス・名取キャンパス合算)



土地・建物

(単位：㎡)

広瀬キャンパス

校舎敷地	学寮敷地	運動場敷地	計
51,101	15,697	39,320	106,118

名称	設置年度	構造	地上階	面積
1号棟(管理棟)	1974	RC	2	735
2号棟(図書館)	1974	RC	2	1,601
3号棟(研究実験棟)	1974	RC	4	2,799
4号棟(講義棟)	1974	RC	2	2,011
5号棟(電子計算機室)	1977	RC	1	306
6号棟(旧電子工学科棟)	1979	RC	2	788
6号棟(旧情報工学科棟)	1979	RC	3	1,699
7号棟(情報処理設計工作室)	1982	RC	2	786
8号棟(旧電子制御工学科棟)	1987	RC	4	2,850
9号棟(研究・産学連携推進センター)	1994	RC	2	463
10号棟(専攻科研究実験棟)	1995	RC	3	939
11号棟(創造教育棟)	2003	RC	3	1,538
車庫	1974	RC	1	162
守衛室	1974	RC	1	29
プロパン格納庫	1974	RC	1	11
物品倉庫	1974	CB	1	183
書類倉庫	1974	W	2	116
13号棟(第一体育館)	1974	S	1	1,021
14号棟(第二体育館)	1983	S	1	893
15号棟(武道場)	1974	S	1	225
屋外運動場付属施設	1976	CB	1	159
部室	1974	S	1	228
倉庫	1974	S	1	40
合宿研修所	1979	RC	1	200
12号棟(松韻会館)	1986	RC	2	896
松韻寮(南寮)	1976	RC	5	1,905
松韻寮(北寮)	1974	RC	5	3,025
松韻寮(東寮)	1983	RC	4	917
設備機械室	1974	RC	1	198

名取キャンパス

校舎敷地	学寮敷地	運動場敷地	その他	計	職員宿舍敷地
44,063	11,771	29,815	28,796	114,445	6,878

名称	設置年度	構造	地上階	面積
1号棟(事務棟)	1981	RC	2	753
2号棟(秋工会館)	1983	RC	2	844
3号棟(総合科学教育棟)	1999	RC	5	4,506
4号棟(研究・産学連携推進センター)	2000	RC	4	1,751
5号棟(共通演習棟)	1999	RC	4	1,161
6号棟(建築・電気棟)	1965	RC	3	3,355
7号棟(図書館)	1973	RC	2	1,688
8号棟(機械・マテリアル環境棟)	1965	RC	3	3,110
9号棟(専攻科研究棟)	1995	RC	4	2,288
10号棟(創造教育センター)	1964	S	2	1,446
11号棟(電子計算機室)	1972	RC	1	303
12号棟(第1体育館)	1966	S	2	1,205
13号棟(武道場)	2012	S	1	354
14号棟(第2体育館)	1978	S	1	882
15号棟((仮)新コース新棟)	2025	W	1	454
守衛室	1964	RC	1	27
車庫	1990	S	1	151
倉庫	1964	RC	1	90
プール付属室	1966	CB	1	51
体育器具庫	1968	CB	1	23
体育器具庫	1970	CB	1	83
更衣室	1972	CB	1	59
弓道場・アーチェリー場	1971	S	1	78
合宿研修施設	1977	S	1	215
課外活動用器具庫	1983	CB	1	111
課外活動用器具庫	2007	S	1	20
東寮	1964	RC	3	1,141
南寮	1965	RC	3	1,095
寮管理棟	1965	RC	1	583
学習室	1964	RC	1	46
食品庫	1966	CB	1	42
西寮	1969	RC	3	284
浴室	1969	RC	1	120
北寮	1969	RC	4	989
女子寮	1988	RC	3	610
ボイラー室	1964	RC	1	179
簡易給水施設	1979	S	1	79
受変電室	1991	RC	1	45

教育・研究等活動

外部資金受入状況(令和6年度)

科学研究費助成事業

研究種目	件数	金額(千円)
学術変革領域研究(A)	2	6,110
基盤研究(B)	2	8,580
基盤研究(C)	37	38,373
挑戦的研究(萌芽)	2	1,560
若手研究	8	5,200
研究活動スタート支援	1	1,430
計	52	61,253

受託研究等、寄附金

区 分	件数	金額(千円)
共同研究	18	6,423
受託研究	4	23,191
受託事業	4	4,444
その他補助金	3	303,704
寄附金	24	68,748
計	53	406,510

産学官金連携(協定)一覧

令和7年5月1日現在

- ① 仙台高専産学連携振興会
(法人会員(令和7年5月1日現在)198)
・技術交流 ・情報交換
・研究推進及び学生支援
・地域人材育成

- ② みやぎ産業振興機構
・産学官連携に関する協定

- ③ KDDI株式会社
・包括的連携に関する協定

- ④ 東日本電信電話株式会社
・連携協力協定

- ⑤ 日本青年会議所 宮城ブロック協議会
・連携協力協定

- ① 宮城県
・基盤技術高度化支援に係る
相互協力協定

- ② 名取市
・相互の連携協力協定
・災害時における
施設使用等に関する協定

- ③ 宮城県立がんセンター
・相互の連携協力協定

- ④ 宮城県産業技術総合センター
・地域企業への支援に関する協定

- ⑤ 東松島市
・震災復興に向けた連携協力協定

- ⑥ 宮城県教育委員会
・包括連携協力協定

- ⑦ HOKUSHU 仙台市科学館
・連携協力協定



※宮城県、仙台市、宮城県内11大学等、七十七銀行、仙台銀行、MISA及び仙台商工会議所

- ① 東北大学大学院
工学研究科、情報科学研究科、
環境科学研究科、医工学研究科
・連携協力に関する協定
理学研究科
・連携協力に関する覚書

- ② 東北大学
サイバーサイエンスセンター
・学術交流協定

- ③ 山形大学工学部
・教育研究交流協定

- ④ 宮城県高等看護学校
・相互の連携協力協定

- ⑤ 東北工業大学
・学術交流及び
地域貢献に関する協定

- ⑥ 学都仙台コンソーシアム

- ⑦ eラーニング高等教育連携に
係る遠隔教育による
単位互換に関する協定

- ① 商工組合中央金庫仙台支店
・産学連携の協力推進に係る協定

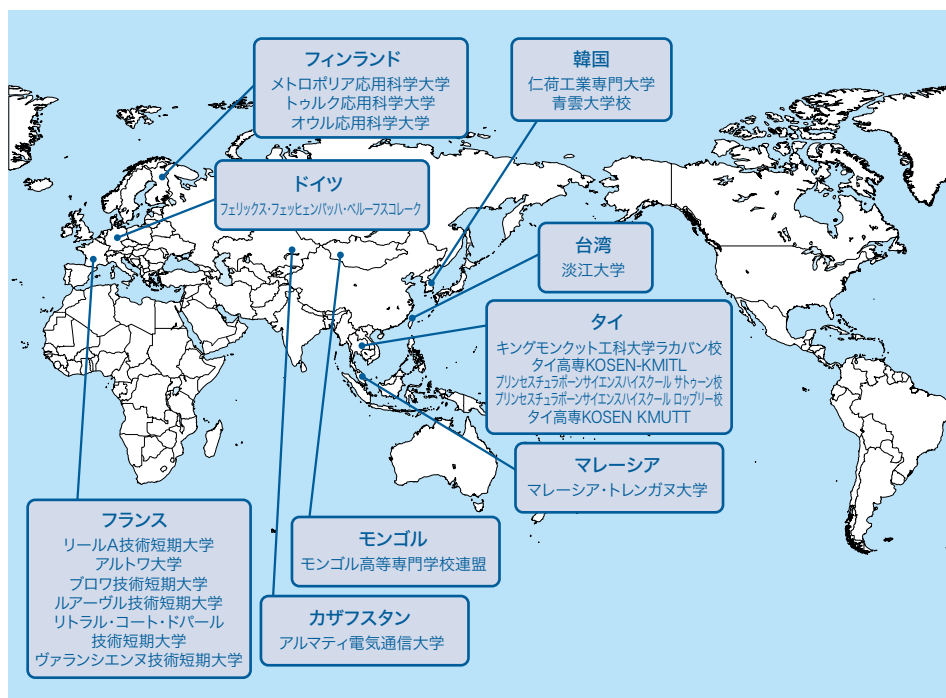
- ② 杜の都信用金庫
・連携協力に関する協定

国際交流

令和7年5月1日現在

学術交流協定締結校一覧

相手国	大学等名	協定締結年月日
韓国	仁荷工業専門大学 Inha Technical College	宮城高専 1991年10月29日 仙台高専 2009年10月 1日
	青雲大学校 Chungwoon University	宮城高専 2009年 1月29日 仙台高専 2009年10月 1日
	キングモンクット工科大学ラカバン校 King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang	仙台電波高専 2006年 3月10日 仙台高専 2009年10月 1日
タイ	タイ高専KOSEN-KMITL KOSEN-KMITL	仙台高専 2021年 3月25日
	プリンセスチュラボーンサイエンスハイスクール サトゥーン校 Princess Chulabhorn Science High School, Satun	仙台高専 2021年 6月 4日
	プリンセスチュラボーンサイエンスハイスクール ロップリー校 Princess Chulabhorn Science High School, Lopburi	仙台高専 2021年 6月 4日
	タイ高専KOSEN KMUTT KOSEN KMUTT	仙台高専 2025年 3月31日
台湾	淡江大学 Tam Kang University	仙台高専 2021年 1月 5日
モンゴル	モンゴル高等専門学校連盟(第1ブロック高専包括協定) Mongolian National Association of Colleges of Technology	仙台高専 2017年10月23日
カザフスタン	アルマティ電気通信大学 Almaty University of Power Engineering and Telecommunications	仙台高専 2018年 2月 6日
マレーシア	マレーシア・トレンガヌ大学 Universiti Malaysia Terengganu	仙台高専 2019年 2月 7日
ドイツ	フェリックス・フェッヒェンバッハ・ベルーフスコレグ Felix-Fechenbach-Berufskolleg	宮城高専 2003年 3月18日 仙台高専 2009年10月 1日
	メトロポリア応用科学大学(東北地区等高専包括協定) Metropolia University of Applied Sciences	宮城高専 2002年 3月26日 仙台電波高専 2006年 9月11日 仙台高専 2009年10月 1日
	トゥルク応用科学大学(東北地区等高専包括協定) Turku University of Applied Sciences	仙台電波高専 2009年 1月20日 仙台高専 2009年10月 1日
フィンランド	オウル応用科学大学 Oulu University of Applied Sciences	仙台高専 2015年 3月24日
フランス	リールA技術短期大学(東北地区等高専包括協定) Institut Universitaire de Technologie A de Lille	仙台電波高専 2008年 6月13日 仙台高専 2009年10月 1日
	アルトワ大学(東北地区等高専包括協定) Universite d'Artois	仙台高専 2012年 6月24日
	ブロワ技術短期大学(東北地区等高専包括協定) Institut Universitaire de Technologie de Blois	仙台高専 2016年 1月13日
	ルアーヴル技術短期大学(東北地区等高専包括協定) Institut Universitaire de Technologie du Havre	仙台高専 2016年 3月 1日
	リトラル・コート・ドパール技術短期大学(東北地区等高専包括協定) Institut Universitaire de Technologie du Littoral Cote d'Opale	仙台高専 2016年 5月31日
	ヴァランシエンヌ技術短期大学(東北地区等高専包括協定) Institut Universitaire de Technologie de Valenciennes	仙台高専 2017年 7月20日



国際学術活動

(単位：人)

学術交流協定に基づく交流実績

	大学等名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学生受入	キングモンクット工科大学ラカパン校(タイ)	13	12	11
	モンゴル高等専門学校協会(モンゴル)	16	12	3
	アルマティ電気通信大学(カザフスタン)	4	1	1
	マレーシア・トレンガヌ大学(マレーシア)			
	フェリックス・フェッヒェンバッハ・ペルーフスコレーク(ドイツ) ※隔年実施による			
	メトロポリア応用科学大学(フィンランド)	2	2	1
	トゥルク応用科学大学(フィンランド)	5	6	6
	オウル応用科学大学(フィンランド)	2	2	1
	リールA技術短期大学等(フランス)	1	2	5
	計	43	37	28
学生派遣	キングモンクット工科大学ラカパン校(タイ)		5	22
	プリンセスチュラポーンサイエンスハイスクール サトゥーン校			4
	モンゴル高等専門学校連盟(モンゴル)			
	フェリックス・フェッヒェンバッハ・ペルーフスコレーク(ドイツ) ※隔年実施による			
	メトロポリア応用科学大学(フィンランド)		3	4
	トゥルク応用科学大学(フィンランド)		7	4
	リールA技術短期大学等(フランス)			
	計		15	34

※令和4年度は、コロナウイルスの影響を受けた実績。

教職員の海外渡航数(学生引率、国際会議等 延べ人数)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
9	26	27

日本学生支援機構海外留学支援制度 (協定派遣)実績(上段：人数、下段：金額(円))

令和4年度	令和5年度	令和6年度
0	12	11
0	3,440,000	3,100,000

日本学生支援機構海外留学支援制度 (協定受入)実績(上段：人数、下段：金額(円))

令和4年度	令和5年度	令和6年度
17	13	12
4,400,000	3,200,000	2,400,000



日タイ高校生 ICT フェア (TJ-SSF2023)



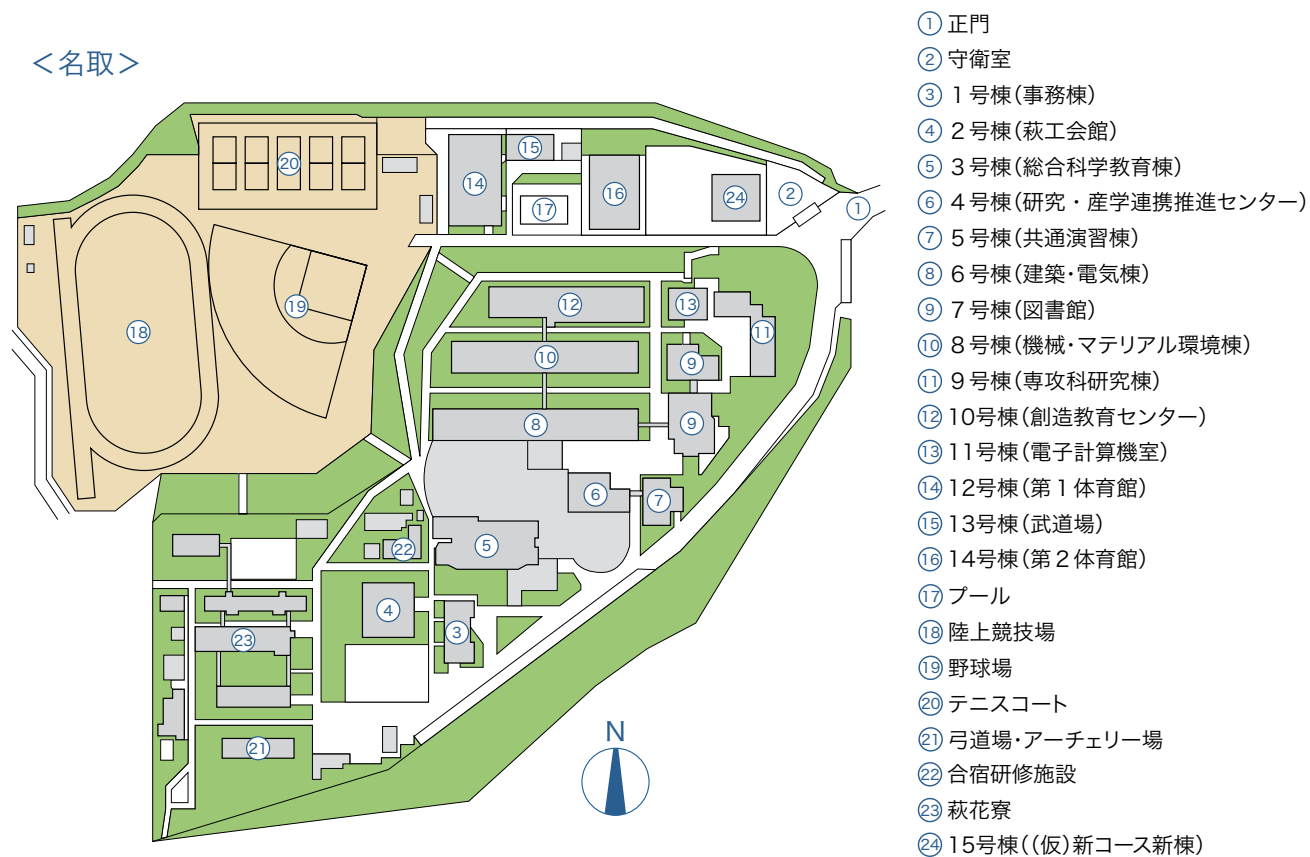
日本文化体験 (茶道)

キャンパスマップ

< 広瀬 >



< 名取 >



アクセス

広瀬キャンパス (旧仙台電波工業高等専門学校)



■ JR 利用の場合

- JR 仙台駅から仙山線に乗車約25分
- JR 山形駅から仙山線快速で約55分
- JR 愛子駅下車、徒歩約15分

■ 仙台市営バス 利用の場合

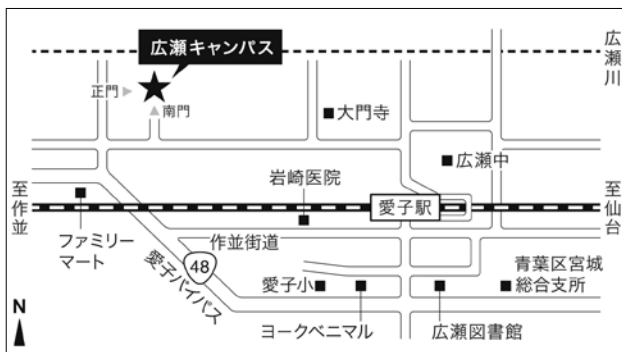
- 仙台駅西口市営バスのりばから、作並温泉、定義、白沢車庫行きに乗車約42分、「仙台高専広瀬キャンパス入口」下車、徒歩5分

■ 車 利用の場合

- 東北道仙台宮城 IC から山形方面へ約6.5km 約10分
- 仙台駅から西道路、R48経由で約12.5km 約30分

■ 航空機 利用の場合

- 仙台空港から JR 仙台駅までは、仙台空港アクセス線で、約25分(快速17分)、仙台駅からは、JR もしくは仙台市営バスをご利用ください。



名取キャンパス (旧宮城工業高等専門学校)



■ JR 利用の場合

- JR 仙台駅から東北本線・常磐線・仙台空港アクセス線に乗車約12分
- JR 名取駅下車、バス約5分、徒歩約25分

■ 名取市バス「なとりん号」利用の場合

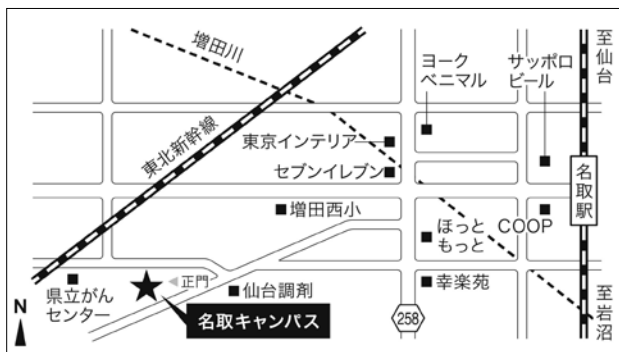
- 名取駅西口のりばから愛の杜循環線、高館線、または相互台線に乗車約5分、「仙台高専名取キャンパス前」下車、徒歩5分

■ 車 利用の場合

- 東北道仙台南 IC から約10km 約20分
- 仙台空港から約10km 約15分

■ 航空機 利用の場合

- 仙台空港から名取駅までは、仙台空港アクセス線で、約10分、名取駅からは、徒歩もしくは名取市バス「なとりん号」をご利用ください。





Mail : koho@sendai-nct.ac.jp

U R L : <https://www.sendai-nct.ac.jp>



広瀬キャンパス

〒989-3128 宮城県仙台市青葉区愛子中央4丁目16番1号
TEL : 022-391-5508(代) FAX : 022-391-6144(代)

名取キャンパス

〒981-1239 宮城県名取市愛島塩手字野田山48番地
TEL : 022-381-0253(代) FAX : 022-381-0255(代)

編集・発行 仙台高等専門学校 広報室 2025年9月発行



この冊子は環境に配慮した
「水なし印刷」により印刷しております。



抗ウイルス加工

製品上の特定ウイルスの数を減少させます
無機抗ウイルス加工剤・繰込
印刷面 JP0612418A0001Y

SIAAマークはISO21702法により評価された結果に基づき、抗ウイルス技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
!!注意事項!! 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。SIAAの安全性基準に適合しています。